

第七十回
帝國議會
貴族院

アルコール專賣法案特別委員會議事速記録第二號

昭和十二年三月二十六日(金曜日)午前十時二十八分開會

○委員長(子爵梅小路定行君) ソレデハ只

今カラ開會致シマス、昨日農林省關係ニ付テチヨット御尋ニナッタ方ガアツヤウデアリマスルシ、本日農林關係ノオ方ガ見エテ居リマスカラ御説明ヲ願フコトニ致シマス、説明員ニ願フ積リデ居リマスガ、御異議ハアリマスマイカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵梅小路定行君) ソレデハド

ウゾ御願ヒ致シマス

○説明員(間部彰君) 昨日土岐子爵カラ「ア

ルコール」原料ノ甘諸ノ品種ハ、ドウ云フモノヲ用ヒル積リカト云フコトニ付テ御尋ガアツヤウデアリマスガ、差當リノ所デハ、現在アリマスル甘諸ノ品種ノ中カラ、比較的澱粉價ノ高イ、澱粉價ノ高イト申スヨリカモ、段當面積カラ最モ多クノ酒精ノ成分タルベキモノヲ供給スルヤウナ品種ヲ選ブ外ナイト思フノデス、關東地方デハ茨城、千葉縣ナドデアリマス、立

ガ、マア斯ウ云フ種類ヲ用ヒサシタイト思ッテ居リマス、九州デハ鹿児島、宮崎、熊本アタリデハ莫無、源氏ト申シマスモノ、是ハ昔カラ澱粉原料、焼酎原料トシテ非常ニ需要サレテ居リマスルカラ、之ヲ用ヒル積リデアリマス、將來ハ今申上ゲマシタヤウナ品種ヨリモモウ一層良イモノヲ育成致シタイト思ヒマス、ソレニ付キマシテハ十二年度ニ豫算ヲ要求シデアリマスノデ、ソレニ依リマシテ酒精原料ニ最モ適スルヤウナ品種ノ育成ヲ農林省デヤル積リノ居リマス、ソレカラ尙序ニ原料供給ノコトニ付テ申上ゲマスガ、酒精製造原料ノ、甘諸ナリ「馬鈴薯ナリ」供給ニ付キマシテハ、政府ノ計畫ニ支障ノナイヤウニ十分努力スル積リデ居ルデアリマスガ、甘諸又ハ馬鈴薯ノ生産ノ現在ノ狀況カラ致シマスルト云フト、増産ノ餘地ハ相當大キイノデアリマシテ、政府ハ相當ノ價格デ或量ヲ確實ニ買取ルト云フコトニナリマス、ト云フト、當業者モ安心シテ生産ニ努メル譯デアリマスカラ、今ノ計畫ニ於ケル所要數量ハ十分ニ供給シ得ルコトガ出來ルト信ジテ居リマス、モウ既ニ關係府縣、或ハ關係農業

團體トモ協力致シマシテ、其ノ増産ノ計畫ニ付テ、或程度準備ヲ進メテ居ルヤウナ次第デアリマス、十二年度「アルコール」製造ノ爲ニ必要トシマスル原料ノ數量ハ、マア三千三百萬貫位ト思ヒマスガ、是ハ甘諸デアリマスガ、ソレニ對シマシテ、マア關東、九州、此ノ兩地方デソレダケノ數量ヲ調達スルコトガ出來マシヤウニ、今計畫致シテ居リマスガ、其ノ増産ノ計畫ノ内容ハ、御手許ニ資料トシテ配付シテゴザイマスルカラ、ソレデ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、只今ノ所千葉縣、茨城縣、熊本、宮崎、鹿児島縣デ其ノ準備ヲ致シテ居ル譯デアリマスガ、ソレ等ノ縣ノ増産ノ豫定數量ト致シマシテハ、三千三百萬貫以上ノ計畫ニナッテ居リマス、デ是ダケノモノハ大丈夫出來ルモノト考ヘテ居リマス、十九年度、詰リ計畫ノ最後ノ年ノ供給量ニ付キマシテハ、是ハ昨年全國ノ主要甘諸生産地ニ照會致シマシテ、増産ノ見込量ヲ調べタノデアリマスルガ、ソレニ依リマス、ト云フト、現在三千町歩以上ノ甘諸ノ生産地デ増産ヲ致ストスルト、約五億萬貫ノ增收ノ見込ミガアルノデアリマス、ソレハ現在ノ既栽培地

ニ於ケル反當リノ數量ノ増加、或ハ作物ノ轉換ニ依リマシテ、或ハ新開墾地ニ於ケル新栽培ト云フヤウナ方面カラ殖エテ來ルノデアリマスカラ、十九年ノ所要數量ハ其ノ時ニナッテドウ云フ風ニ變ルノカ分リマセスガ、假ニ甘諸デ百二十萬石ノ「アルコール」ヲ造ルト致シマス、ト云フト、所要原料ハ約四億貫デ宜イノデアリマスカラ、先刻申上ゲマシタ増産ノ見込數量ノ五億貫ニ對シテ、其ノ内輪デアリマスカラ十分ニ餘裕ガアルト考ヘテ居リマス

○子爵土岐章君 其ノ關東及九州地方ニ多イト云フヤウニ承知サレルノデアリマスガ、尙今後政府トシテハ其ノ適當ナル品質ヲ段ニ育成サレルト云フコトデゴザイマスルガ、元々甘諸ト云フモノハ食料品デアリマスノデ、其ノ間都會地方ニ於ケル所ノ甘諸ノ需要ト云フモノモ、マア只今ノ所デハ米ノ收量ガ非常ニ多クテ、寧ロ政府トシテハ米ノ處置ニ困ッデ居ルヤウナ、狀況デアリマスルカラ、甘諸ノ如キモノヲ主要食物ノ代用トシテ用ヒラレルト云フコトハ、先ヅ想像出來ナイト云フコトハ考ヘラレマスケレドモ、丁度大正七年、八年時分ニ於

テハ米ガ不足シテ、サウシテ是等ノ代用ト申シマスガ、芋類、馬鈴薯、或ハ甘藷等ガ非常ニ主要食品ノ代用ニナツタコトガアッタノデアリマス、是等ニ付テハ政府ハ非常ニ樂觀ノ態度ヲ執ッテ居ラレルヤウデアリマスケレドモ、私ハ是非ニ此ノ増産計畫ニ對シテモ、食糧問題トカ云フモノヲ土臺トシテ、是等ノ計畫ヲ立ッテ戴キタイト云フ希望ヲ持ッテ居ル者デアリマス、昨日モ申上ゲタノデアリマスガ、尙特ニ農林省ノ方モ居ラレルコトデアリマスカラ、私ハ此ノ點ニ對シテ特ニ其ノ希望ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、尙衆議院ノ附帶決議ニモゴザイマスヤウニ、尙更ニ外ノ原料デモ製造ニ努力シヨウト云フコトヲ附加ヘテゴザイマスカ、元々最初ニ御説明ガアリマシヤウニ「アルコール」工業ニ對シテノ原料ハ、砂糖ノ製造ニ用ヒル所ノ甘蔗、或ハ甜菜等ノ糖蜜ト云フモノ、及ビ澱粉原料デアル所ノ馬鈴薯、或ハ其ノ他ノ穀類ト云フモノヲ用ヒラレルノデアッテ、尙更ニ木材等ヲ用ヒラレルト云フコトモアリマスガ、何レモ食料品ト云フコトニ關聯ガアリマスノデ、平時カラソレ等ノモノガ總テ工業方面トモ有無相通ズルヤウニサレテ行クト云フコトニナレバ、私ハ寧ロ米ノ問題ニ付テモ、米ト云

フモノガ唯主食物トシテ食用サレルト云フコトデナク、之モ工業方面ニ付テモ融通ガ付クト云フヤウナコトニナルナラバ、一層政策的ニ言ッテモ便利デアル、又今日米ニ對シテ非常ニ莫大ナル損失ヲ國家ガ負フテ居ルト云フヤウナコトモ、是ガ最初出發點ニ於テ米ト云フモノニ付テ、食糧ト云フコトカラ出發シテ政策ガ遂ニ科學ノ問題ニマデ入ッタト云フ結果ガアノ大損失ヲ來シタト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ル者デアリマス、從ッテ今日此ノ「アルコール」工業ト云フモノモ燃料デアル所ノ揮發油ノ節約、又同時ニ農村ニ於ケル所ノ今日ノ窮乏ヲ救ハウト云フヤウナ大ナル觀點カラ出發サレテ居リ、尙更ニ燃料ノ揮發油ヲ製造スルト云フコトハ平時カラ國際貸借モ幾分デモ減ルダラウト云フ點カラ出發サレテ居ルノデアリマスカ、元々工業原料トシテ使ハレルト云フコトニナリマスレバ安クシナケレバナラス所デ農家ニ對シテ此ノ栽培ヲ盛ニ獎勵シテ、或一定ノ價格デ買上ゲルト云フコトニナリマシタナラバ、ソレハ農家トシテハ非常ニ高ク買ッテ貰ヒタイ希望ヲ持ッテ居リマスガ、又製造ノ方カラハ安ク其ノ原料ヲ買ヒタイト云フ所ニ於テ、ソコニ相反スル結果ニナル處ガ今カラ想像シテモ、原料栽培ガ段々盛

ニナツタト云フ曉ニ於テハソコニ又米ト同ジヤウニ數量ガ非常ニ多クナツテモット買ッテ呉レト云フ問題モ起ルダラウト考ヘマス、此ノ點ニ付テハ餘程政府當局トシテモ、其ノ間ノ事情モ今日非常ニ能ク今日辨ヘラレテ、サウシテ此ノ計畫ヲ進メラレタイト云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマス、之ニ對シテ何等カ御計畫デモ御アリニナリマスカ、其ノ邊ノ御見込ト云フモノガ御アリニナレバ伺ヒタイト思ヒマス

○説明員(間部彰君) 「アルコール」製造ノ爲ニ新タニ原料トシテ出發スル譯デアリマスガ、ソレガ爲ニ他ノ食糧若シクハ他ノ工業用ノ原料ニナツテ居ルモノヲ侵スト云フコトガアッデハイカス譯デス、其ノ點ハ私共十分ニ注意ヲ致シテ行キタイト思ヒマス、詰リ此ノ計畫ニ依ッテ必要トスル原料ダケハ全ク別ニ生産スルト云フ風ニシテ行キタイト思ヒマス、ソレハ各關係方面ニモ十分ニ示シテアリマスノデ、尙今後モ其ノ點ニ付テハ農林省トシマシテモ十分ニ注意ヲ致ス積リデアリマス、唯チヨット申上ゲテ置キマスガ、甘藷ハ實ハ最近ノ需要ノ趨勢ヲ見マスト云フト餘リ殖エマセスノデアリマス、大戰前カラズット統計ヲ調べテ見マスト云フト多少減退ノ傾向ガアルノデアリマス、

マア減退ト申サナイマデモ、需要ガ日本全體ト致シマシテハ殖エナイノデアリマス、尤モ或地方デハ特ニ殖エテ居リマスガ、併シ他ノ地方デ減ッテ居ルト云フモノモアリ、日本全體トシテ餘リ殖エテ居ナイヤウデアリマス、デアリマスカラ是カラ先ニ増産サレルモノハ總テ新用途ニ其ノ儘用ヒラレマシテモ大體ニ於テ差支ナイト云フコトニナルカト思ヒマス、併シ今ノ御希望ノ點ニ付キマシテハ十分注意ヲ致シテ他ノ用途ニ支障ノナイヤウニ努メル積リデアリマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 只今御尋ノ後段ノ點ニ付テ御答ヲ致シタイト思ヒマス、或ハ十分ノ御答ガ出來ナイカトモ思ヒマスケレドモ、尙不十分ナル點ニ付キマシテハ後日研究ノ上デ完全ニ致シタイト思ッテ居リマス、此ノ甘藷ノ増産ニ付キマシテ馬鈴薯モ亦同様デアリマスガ、食糧問題ト重要ナ關係ガアリマスコトハ只今御述ノ通りデアリマシテ、殊ニ馬鈴薯等ニ付キマシテハ今日價格等モ調査致シマシテモ、食用ノ馬鈴薯ヲ標準ニ致スト云フ地方モアリマスノデ、之デハ「アルコール」ノ原料ニハナラナイノデアリマシテ、先ヅ別種ノ種類ノ物ヲ利用スルト云フコトニ相成ルト思フノデアリマス、併シ之モ全ク食用ニナラスト云

フモノデアリマセス、イザト云フ場合ニハ食糧ニナリ得ルデアリマシテ、食糧問題ト致シマシテ此ノ甘藷、馬鈴薯ノ増産計畫ト云フモノガ重要ナル問題デアルコトハ申ス迄モナイ所デアリマス、從ヒマシテ之ヲ増産致シマス、又「アルコール」ヲ造リマスニ付テハ、其ノ問題ニ付キマシテ十分注意ヲ致シ、又絶エズ其ノ方面ノ當局ト連絡ヲ取りマシテ仕事ヲ進メタイト思ッテ居ル次第デアリマス、又價格ノ問題デアリマスガ、之モ農家カラ申シマスレバ出來得ルダケ高イ價格デ以テ買ッテ貰ヒタイ、殊ニ此ノ問題ガ農村振興ト云フ事ト關聯致シマス關係カラ、是非相當ナ價格ヲ以テ買ッテ貰ヒタイト云フ希望デアルデアリマス、併シナガラ「アルコール」ノ原料ト致シマシテ「ガソリン」ニ混ゼル「アルコール」ヲ造ル點カラ見マスルト、出來ルダケ之ヲ安ク致シマスレバ國庫ノ損失モ少クナルト云フ關係ガアリマス、從ヒマシテ兩者相調和スルヤウナ點ヲ見付ケマシテ、其ノ點ニ於テ價格ノ決定ヲスルト云フコトが必要ト思フデアリマス、是ハナカ／＼困難ナ點ガアルカト思フデアリマスガ、併シナガラ農家ニ取リマシテハ一定、或ハ餘リ變ラナイ價格ヲ以テマシテ農産物ヲ買ッテ貰フ、ソレモ相當多

量ニ買ッテ貰フ、又將來増産モ出來ルト云フコトニ相成リマスレバ、ソコニ有利ナル換金作物ガ出來ルト云フコトニ相成ルデアリマス、又甘藷、馬鈴薯等ノ栽培ハ米等トハ違ヒマシテ、比較的勞力モ少ク、未開墾地ニ付キマシテモ比較的今迄ノ利用出來ナイ土地ガ利用サレルト云フコトニナルデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ農林當局ニ於キマシテモ非常ニ熱心ニ此ノ増産計畫ヲ進メラレルコトニ相成ルデアリマス、其ノ食糧問題トノ關係及ビ是ガ買上價格ノ關係ト云フコトニ付キマシテハ少シク廣ク眼ヲ放チマシテ、各方面ノ關係ヲ考慮致シマシテ十分遺憾ナイコトヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵土岐章君 只今ノ御答辯ヲ伺ヒマシテ私ハ満足致シマスガ、ドウゾ其ノ點ニ付テ一層御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、更ニ私ハ伺ヒタイノデアリマスガ、此ノ御計畫ヲ見ルト云フト、新ニ種々工場ヲ造ラレルト云フコトデアリマスガ、私ノ承知シテ居ル所ニ於テハ曾テ數年前ニハ日本ノ從來焼酎工場、焼酎工場ト申シマス矢張り日本ノ焼酎工場ハ主トシテ、甘藷或ハ中ニハ玉蜀黍、其ノ他ノ澱粉原料デ造ッテ居ルモノモアリマスガ、多クハ甘藷ノ原料ヲ以テ造ッテ

居ルノデアリマス、是等ノ工場ガ生産過剰ニナッテ政府ガ統制ガ取レナクナッタト云フコトニ私ハ承知シテ居リマス、ソレガ爲ニ統制ヲシテ今日ノ「アルコール」即チ焼酎工場ノ數ヲ制限シタト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、今日我々ガ考ヘマスニハ、是等ノ焼酎工場ヲ以テ土臺ニシテ進メラレルコトガ宜イノデハナイカ、ナゼカト申シマス、昨日モ承リマス、ト「アルコール」製造ニ付テノ技術ガ非常ニムツカシイカラ、平生カラ其ノ準備ヲシテ行キタイト言ハレマスケレドモ、現在既ニ焼酎工場ト云フモノハ同じ裝置ヲ持ッテ居ルモノト私ハ考ヘマス、デアリマスカラ、此ノ工場ヲ土臺トシテ生産モ立テラレ、又之ヲ段々ニ擴張シテ一方ニ於テハ燃料用ノ「アルコール」モ造ラレルト云フコトニ進マレルコトガ兩者ノ爲ニ私ハ便利ダラウト考ヘマス、何ガ故ニ更ニ新シク、同じ原料ヲ用ユル「アルコール」工場ト云フ名前デ業者ヲ呼びタイノデアリマスガ、更ニ工場ヲ作ラレルト云フコトヲ考ヘマス、無經驗ナ者ガ更ニ飛ビ出シテ來ルト云フコトデ、却テ結果ハ惡イノデハナイカト云フ感ジガサレルノデアリマスガ、政府ノ方ニ於テ其ノ間ノ事情ニ付テ更ニ御説明ヲ承リタイト考ヘマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 「アルコール」製造ト焼酎ノ製造トノ關係デアリマスガ、御承知ノ通り焼酎ト云フモノハ、元來今日ハ二種アルヤウニナッテ參ッタデアリマス、一ツハ酒粕等カラ蒸餾致シマシテ、之ヲ作ル所謂舊式焼酎デアリマシテ、是ハ「アルコール」トハ餘程關係ノ薄イモノデアリマス、然ルニ新式焼酎ト云フモノハ其ノ後生レテ參ッタデアリマシテ、是ハ甘藷等原料ト致シマシテ造ルモノデアリマシテ、相當ノ進歩シマシタ蒸餾器ヲ以テ蒸餾致シテ、殆ド「アルコール」ヲ造ルト同ジ操作ヲ以テ造ルノデアリマシテ、ソレニ水ヲ混ゼマシテ薄ク致シテ、又他ノ粕取り焼酎等ヲ混ゼマシテ、市中ハ販賣スルモノデアリマス、從ッテ其ノ工場ノ操作ノ上ニ於キマシテ、只今御尋ノ如ク殆ド「アルコール」工業ニ近イノデアリマス、從ッテ此ノ技術ヲ利用スルト云フコトハ極メテ必要デアリマスノデ、政府ニ於キマシテ新シイ工場ヲ造ルト云フ場合ニ於キマシテモ、其ノ技術員ノ援助ヲ受ケルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、現ニ計畫ヲ立テマス上ニ於テモ相當援助ヲ受ケテ居ル次第デアリマス、然ラバ此ノ工場ヲ擴張致シマシテ酒精ヲ造ラセルト云フコトニ致シタラドウカト云フコト

デアリマスガ、此ノ燒酎工業ノ蒸餾ハ今日カラ見マス、非常ニ小規模ナモノデアリマシテ、若シ生産費ヲ安く致シマシテ之ヲ造リマスニハ、矢張り新ナル設備ヲスルト云フコトガ必要デアリマス、先

テ見タイト考ヘテ居ルノデアリマス、只今御話ノ通り直接間接ニ是等ノ技術ヲ利用スルト云フコトハ極メテ必要ノコトニ考ヘル、又其ノ技術ヲ利用致シテ進ミタイト思ッテ居ル次第デアリマス

程御話ノ通り燒酎工業ガ一時ハ非常ニ競争ガ強クナリマシテ、大分倒産スル者モ出来

○子爵土岐章君 今ノ御説明デ稍、分リマシタ、然ラバ更ニ尋ネタイノデスガ、サウ致

タノデアリマス、其ノ後燒酎聯盟ト云フモノガ出来マシテ統制ヲ致シマシテ、價格ノ統制モ致シ又生産ノ統制モ致シマシテ、今日相當ニ利益ヲ擧ゲテ居ルノデアリマスガ、

シマスルト、衆議院ノ速記録ヲ拜見致シマシテモ、其ノ點ニ付テ御答ガナイノデアリマスガ、今日ノ程度ニ於テ燒酎一斗當リ幾ラニ當ルノデアリマスカ、今マデノ政府ノ御答辯デ承ッテ居ルト云フト、ドウモ「アル

是等ノモノニ相談致シマシテモ、若シ燃料用「アルコール」等ヲ造リマスニハ、別ノ會社ヲ造リ、別ノ設備ヲ致サナケレバ此ノ需要ニ應ズルコトガ出来ヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、若シ別ノ會社ヲ造リ、別ノ組織ヲヤルト云フコトデアリマ

コール」工業ト云フコトニ付テ自信ガアルヤウナ、ナイヤウナ不確實ナ感じガスルノデアリマスガ、政府ハ更ニ自ラ專賣スル爲ニ工場ヲ造ルト云フコトニ付テハ、相當ナ計算ノ基礎ニ立ッテヤラレル、勿論製造ノ上ニ於テハ幾ラカノ支障ハゴザイマスケレド

スレバ、其ノ技術モ利用出来マスノデ頗ル有利ダト思フノデアリマス、又、或工場ヲ無水「アルコール」ヲ造ル方ニ向ケルト云フコトモノツノ方法デアリマシテ、我々ト致シマシテハ最モ能率ノ擧ガル工場ヲ一箇所

モ、只今御話ノヤウニ、從來ノ工場ハ小サイカラ更ニ大キイモノヲ造ッテ、其ノ「コスト」ヲ下ゲルノダト云フ御話デアリマスガ、少クトモ今日ノ程度ニ於テハ最モ大ナル工場ニ於ケル「アルコール」ノ石當リノ生産費用ノ御計算ガアラウト思ヒマスガ、ソレハド

ウカト云フコトヲ勸メテ居ルコトモアルノデアリマス、又會社ヲ造ルト云フコトノ計畫ガアリマスレバ、是モ相當ニ相談ヲ致シ

ヲ願ヒタイト考ヘマス

デアリマスガ、此ノ燒酎工業ノ蒸餾ハ今日

○政府委員(荒井誠一郎君) 只今ノ御尋デ

アルコールヲ造ル方ニ向ケルト云フコトモノツノ方法デアリマシテ、我々ト致シマシテハ最モ能率ノ擧ガル工場ヲ一箇所

アリマスルガ、燒酎ノ生産費ト云フコトニ付

居リマス、無論税金ヲ抜イタ原價デアリマ

○説明員(黒野勘六君) 從來ノ燒酎會社ノ

居リマス、無論税金ヲ抜イタ原價デアリマ

シタ時ニ調査致シタノデアリマスガ、是ハ非常ニ區々デアリマス、極ク小サイ工場ニ於キマシテハ非常ニ高イ生産費ガ出テ居リマスガ、相當大キナ工場ニ於キマシテハ安イ生産費モ出テ居ルノデアリマス、固ヨリ「アルコール」ヲ造リマス時ノ大キナ工場ノ生産費ヲ參考ニ致シテ差支ナイト思フノデア

ス、ソレカラ臺灣ノ糖蜜、臺灣ニ限リマセズ、南洋ナドノ糖蜜ヲ移入シマシテ、サウシテソレヲ原料トシテ「アルコール」ヲ造ッテ居ル所モゴザイマスガ、是等デストズット安クナリマシテ、三十五六萬圓カラ七八圓位ニハ「コスト」ガ上ッテ居ルヤウニ見ラレルノデアリマス、平均シマシテ先ヅ四十圓以上ニハ確カニ付イテ居ルノデアリマス、假ニ石四十圓ノ原價ト致シマス、一「ガロン」ニ換算致シマス、八十五錢位ニ當ルト思ヒマス、サウシマス「ガソリン」トノ價格ガ非常ニ差ガ多クナッテ參リマス、燃料用ノ「アルコール」ト致シマスニハ、モット出来ルダケ價格ヲ切下ゲナケレバナラスノデアリマシテ、細カイ點ナドモ随分調査シテ見タノデアリマスガ、現在ニ於キマシテハ、飲料用ヲ目的ニシテ小サイ會社ガ拵ヘテ居ルノデアリマスカラ、石炭ノ使用量ノ如キ實ニ驚クベキモノガアルノデアリマス、例ヘバ一石ノ「アルコール」ヲ造ルトシテ、五百「トン」以上、モット甚ダシイノモアル、或所デハ其ノ五割増位ノ石炭ヲ減茶ニ使ッテ居ルヤウナ計算モ出テ居ルト思ヒマスガ、是ハ少シモ餘熱ノ利用ナント云フコトヲヤッテ居リマセヌ、熱イ湯ヲ其ノ儘排泄シテ居

ルコール」ヲ造リマス時ノ大キナ工場ノ生産費ヲ參考ニ致シテ差支ナイト思フノデア

居リマス、無論税金ヲ抜イタ原價デアリマ

リマスガ、是ハ燒酎トシテ飲料ニ供シ、其ノ價格モ酒ト比較シテ價格ガ決定サレテ居リマスノデ、割合ニ生産費ヲ優ニ見マシテモ引合ヒガ出来ルノデアリマシテ、此ノ點ハ今日燒酎業者ハ非常ニ有利ナ地位ニ立ッテ

居リマス、從ヒマシテ此ノ生産費ニ付キマシテモ大分高ク見テ居ルヤウニナッテ居ルノデアリマス、尙政府ノ生産費ニ付キマシテハ、一應説明員ノ方デ説明致シマス

今日燒酎業者ハ非常ニ有利ナ地位ニ立ッテ居リマス、從ヒマシテ此ノ生産費ニ付キマシテモ大分高ク見テ居ルヤウニナッテ居ルノデアリマス、尙政府ノ生産費ニ付キマシテハ、一應説明員ノ方デ説明致シマス

居リマス、無論税金ヲ抜イタ原價デアリマ

ハ、一應説明員ノ方デ説明致シマス

居リマス、無論税金ヲ抜イタ原價デアリマ

等ハ薯ヲ原料ニ致シマス場合ニハ、平均シマシテデスガ、一石四十五圓以上ニ當ッテ

居リマス、無論税金ヲ抜イタ原價デアリマ

ルトカ、熱イ蒸餾残渣ヲ其ノ儘廢棄シテ居ルト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマシテ、燃料ノ利用ガ十分ニ行ツテ居リマセヌ、無水「アルコール」生産法ハ皆餘熱ヲ利用シマシテ、出來ルダケ石炭ノ使用量ヲ節減スルヤウニ機械ガ出來テ居ルノデアリマシテ、斯様ニシマスト餘程「コスト」ヲ切下ゲルコトガ出來ルト考ヘルノデアリマス、ソレニシマシテモ御承知デゴザイマス通リニ、原價ノ大部分ヲ占ムモノハ原料費デゴザイマシテ、薯ノ價格ガ最モ大部分デアリマスルガ、政府ノ目的トシテ居リマスル點ハ、一石當リ三十二圓五十六錢ト云フ數字ガ出テ居ルノデアリマシテ、之ヲ「ガロン」ニ直シマスト、六十八錢四厘ト云フ數字ガ出テ居ルノデアリマス、是ハ薯ノ切乾芋ノ一貫目當リガ二十錢ノ場合トシテ計算シタ數字デアリマシテ、是ガ若シ一錢上リマスレバ一圓十五錢石當リ上ツテ來ルコトニナツテ居ルノデアリマス、マア今ノ所デハ原料ノ切乾薯ハ二十錢デ十分買ヘルト云フヤウナ、見込ノ所モアリマスルシ、又衆議院デモ、農林省デモ二十錢デハ少シ安イガ、モウ少シ高ク買ツテ貰ハナケレバイカスト云フヤウナ御希望ノ所モアッタヤウニアリマスルガ、此ノ原料ノ價格ニ依リマシテ、此ノ「ガ

ロン」六十八錢四厘ト云フ數字ハ多少變ッテ參ルカモ知レマセヌデゴザイマスケレドモ、今ノ所デハサウ云フ數字デ起算シテゴザイマス

○子爵土岐章君 尙質問致シマスガ、只今モ御話ノヤウニ、原料ガ非常ニ面倒ダト云フ話デゴザイマシテ、政府ノ御計畫ニハ原料トシテ甜菜糖ト云フモノニ付テノ御考ガナイヤウデアリマスガ、私ノ考ヘル所デハ北海道或ハ東北等ニ於テハ菜糖ノ栽培ヲ獎勵ラシテ、サウシテ「アルコール」ヲ造ラ

ノ國デモヤツテ居ルノデスカラ、ヨリ以上成績ガ舉ガルト云フコトガ想像サレルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ農林省當局トシテハ如何ナル御研究ヲナサイマシタカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○説明員(間部彰君) 甜菜糖ヲ原料トシテ「アルコール」ヲ製造スルト云フコトハ、今農林省トシテハ考ヘテ居リマセヌ、ソレハ現在ノ北海道ノ甜菜ノ收穫量、ソレカラ糖分等ノ關係カラ計算致シマシテ、馬鈴薯以上ニ經濟的デナイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、寧ロ甘藷、馬鈴薯以外ニ「アルコール」原料ヲ求メルトスレバ、玉蜀黍、北海道アタリデハ玉蜀黍ヲ考ヘテ見タイト考ヘテ居リマス、其ノ玉蜀黍ヲ考慮シタイト云フ理由ノ一ツハ貯藏ニ便利ナト云フ點ガ一ツアリマス、從ツテ工場ノ經營ノ上ニモ非常ニ有利デアル、ソレカラ農家ノ方カラ申シマシテモ、北海道デ申シマスト十勝平野ナドハ玉蜀黍ノ好適地デゴザイマスノデ、收穫モ相當多ウゴザイマスカラ、相當ノ價格デ買上ゲラレルコトニナルト、作物トシテモ有利ナ作物ニナルカト思ヒマス

工業ダケデ行クト云フコトヨリモ、外ノ工業ト結付ケテ行クト云フコトガ生産費ヲ安クスル爲ニ最モ必要ト考ヘルノデアリマス、所デ仄聞スル所ニ依リマスルト云フト、朝鮮ノ平壤ニ「コーン・ブ Rodgers & Company」ト云フモノガ經營サレテ、其ノ後三菱ニ依ツテ其ノ經營ガ持續サレテ居ルト云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、是等ノ澱粉工場ニ依ツテ「アルコール」工場ヲ同時ニヤラセルト云フ風ナコトヲ御考ヘニナツタ方ガ宜イト云フヤウナ感じガ致シマス、サウ云フ點ニ對シテ政府ハ御考慮ニナリマシタデスカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 澱粉工場ニ附置致シマスレバ、澱粉滓ノ利用等モ出來マスルシ、非常ナ便利ナ點モアルカト思フノデアリマスガ、マダ其ノ點ニ付キマシテハ十分ナル研究ハ持ツテ居リマセヌノデス、御示シニ依リマシテ尙能ク研究致シタイト思フノデアリマス、唯今日ノ内地ニ於キマスル澱粉工場ニ於キマシテハ、大體其ノ澱粉滓ト云フモノガ焼酎ノ原料ニ使ハレテ居リマスノデ、焼酎用ノ「アルコール」ヲ安クスル爲ニ、焼酎會社ガ之ヲ利用シテ居ルノデアリマス、而シテ澱粉ノ工業ハ今日大分盛

デアリマシテ、内地ニ於キマシテハ此ノ上

ニ於テ安クナルシ、又實際問題トシテモ外

○子爵土岐章君 更ニ伺ヒマスルガ、玉蜀黍ハ非常ニ宜カラウト云フ御考デアリマスガ、私ハ總テ工業ト云フモノハ唯單ニ其ノ

デアリマシテ、内地ニ於キマシテハ此ノ上

更ニ擴張スル餘地ガドレダケアルカト云フコトモモウ少シ研究致ス必要ガアルカト思ヒマス、又馬鈴薯ヲ利用致シマス時ニハ馬鈴薯ヲ乾燥スル爲ノ設備モ考ヘナケレバナラヌノデアリマスガ、其ノ時ニハ矢張り澱粉工業ト之ヲ結ンデ仕事ヲ致サナケレバ非常ナ不經濟ナコトニナルト云フコトモ考ヘテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ北海道ニ於キマシテ馬鈴薯ヲ原料トシテ「アルコール」ヲ造ルト云フ時ニナリマスレバ大規模ノ澱粉工業ト結付キマスカト云フコトハマダ申上ガ兼ネマスケレドモ少クトモ中小規模ノ澱粉工業ト云フモノトハ相關聯シテ此ノ仕事ヲ進メテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵土岐章君 只今政府トシテハ此ノ點ニ付テマダ御研究ガ無イト云フコトデアリマシタガ、是非此ノ點ニ對シテハ一層ノ御研究ヲサレマシテ生産費ヲ安クスルト云フコトニ對シテハ一層ノ御努力ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、ソレカラ更ニ伺ヒタイノデアリマスガ、昨日木材カラ「アルコール」ヲ造ルト云フコトニ對シテ「ショウラー」法ガアル、更ニソレガ朝鮮ニ於テ計畫サレテ居ルト云フコトデアリマシタガ、ソレニ付テノ點ヲ伺ッタノデアリマスガ、私ハ強ヒ

テ此ノ「パテント」料ト云フコトニ付テ承知ヲシタコトハナイノデアリマスガ、仄聞スル所ニ依ルト非常ナ莫大ナ費用ガ掛ッテ居ルト云フコトガ言ハレテ居ルノデアリマスガ、恐ラク軍事上ノ建前カラ言ッテハ燃料其ノ他カラ早ク設備ヲシタイト云フコトカラ色々ノ原料ヲ用ヒタイト云フコトデ陸軍其ノ他ノ御希望カラモ是等ノ設備ヲ段々サレテ行クト云フコトハ誠ニ結構デアリマスルケレドモ、私ノ希望ハ是等ノ新シイ研究ガ外國ニ於テモ色々ノ新シイ方法ガ發見サレルト思ヒマス、昨日モ伺フト云フト機械ノ如キモ外國ノ機械ハ非常ニ多イト云フヤウナ御話モアリマシタガ、今日既ニ是等ノ事業ハ國策トシテヤッテ行カナケレバナラヌト云フコトデアアルノデアリマスカラ、總テ其ノ工場其ノ他ニ於テモ國家トシテ一ツノ統一シタ方針ノ下ニサウ云フ「パテント」ヲ買ハナケレバナラヌト云フ場合ニハ一本ノ筋ヲ以テ交渉スルト云フヤウナコトハ私ハ望マシイト考ヘルノデアリマス、私寡聞デハアリマスケレドモ外國ニ於テ聞ク所ニ依ルト日本デハ一ツ何カ新シイ事業ガ起ルト出先ノ商人其ノ他ガ争ッテ一ツノ新シイ「パテント」ニ對シテ買ヒ焦セルト申シマスガ、遂ニ價格以上ノモノニ迄其ノ

値段ヲ釣上ゲテシマフト云フコトニナル爲ニ、結局其ノ事業ガ内地ニ持ッテ來ラレテ事業化サレルト云フ時分ニハナカ／＼「コスト」ガ取レナイト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、此ノ「アルコール」ノ燃料ノ問題ト關聯致シマシテ石炭ノ液化ト云フコトニ付テモ、或ハ「ベルギユース」法デアルトカ、或ハ「フィッシャー」法ト云フヤウナ方法ガ「ドイツ」カラ高い「パテント」料ヲ以テ内地ニ輸入サレ、サウシテ新シク工業ヲ作ルト云フコトガ段々ニ行ハレツ、アルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、是等ニ付テモ他ノ國ガ實際ニヤッテ居ル狀況カラ考ヘルト、ドウモサウ云フ風ナ「パテント」料ト云フモノニ對シテドウモ製造スル者ガ「コスト」ガ非常ニ負擔ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトガ起ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、此ノ點ニ對シテハ、是ハ私ノ希望デアリマスガ、此ノ「アルコール」工業ト云フモノニ付テモ一層各方面ノ權威者等トモ連絡ヲ取ラレ、各省ガ一層緊密ナル連絡ヲ取ラレテ私ハ進ンデ行キタイト考ヘルノデアリマス、歐米方面ニ日本カラ出張サレル所ノ役人ノ方々ニモ、無論其ノ中ニハ非常ニ眞面目ニ研究サレテ居ル方モアルケレドモ、甚ダ不統制ノ下ニ是等ノ問題ヲ持ッテ出カケルノ

デアリマスルケレドモ、「エー、ビー、スイ、ディ」、各種ノ方々ガバラ／＼ノ研究ヲ持ッテ行カレ、又連絡ヲ取ラレズニ行カレルト云フ爲ニ全然其ノ目的ハ同ジダケレドモ、其ノ結果ト云フモノガ一致シナイト云フコトガアルヤウニ我々ハ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ對シテハ、是ハ或ハ大臣カラ御答辯ヲ承ルコトガ本筋カモ知レマセヌケレドモ、陸軍省ノ政府委員デモ宜イカラ、一ツ其ノ點ニ付テドウ云フ御考ヲ御持チデアルカ承リタイト存ジマス

○政府委員(山脇正陸君) 只今御述ニナリマシタ點ハ至極尤ナコトト考ヘルノデアリマス、陸軍ノ關係シマス點ニ付キマシテハ、出先ニ於テ各方面ノ人ト努メテ研究連絡ヲサセマス、ソレカラコチラデ報告ノアリマシタコトハ互ヒニ關係ノ所ハ報告シテヤッテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ中間ニ於キマシテ未ダ不十分ノ點ハ澤山アルコトヲ自覺シテ居ルノデゴザイマス、唯是ガ結局ハ中央部ノ研究機關ノ研究ノ統制ト云フヤウナ問題ニナリマスノデ、希望ハシテ居リマスガ、早急ニ參ラナイ點ガ非常ニ多イトデアリマスガ、此ノ點ハ尙今後今御示シノ御趣旨ヲ能ク考ヘマシテ研究ヲ進メテ行キタイト思ヒマス

○子爵土岐章君 只今ノ御答辯ヲ承リマシテ、私ハ非常ニ満足スルモノデアリマスガ、ドウゾ其ノ點ニ對シテハ一層緊密ナル連絡ヲ取ラレテ、サウシテ國家トシテ萬遺漏ノナイ點ニ到達スルヤウニ切望致シテ居ルノデゴザイマス、先ヅ私ハ大體此ノ程度デ質問ヲ打切りマス

○委員長(子爵梅小路定行君) チョット御諮リ致シマスガ、此ノ法律案ハ燃料國策トシテ陸海軍ニ相當深イ關係ヲ持ッテ居ラレルノデアリマス、幸ヒ海軍省ノ御方モ見エテ居ルヤウデスカラ一應御考ヲ承リタイト思ヒマスガ如何デスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○政府委員(山脇正隆君) チョット私カラ只今ノ御質問ニ對シテ根本問題ニ付テ御話申上ゲタイト思ヒマス

○委員長(子爵梅小路定行君) ソレデハ一ツ陸軍ノ方カラモ根本問題ニ付テ陸軍省ノ政府委員ノ御説明ヲ一ツ願ヒマス

○政府委員(山脇正隆君) 「アルコール」專賣及ビ「アルコール」混用ニ關シマスル陸軍ノ根本的ノ考ヲ此ノ際申サシテ戴キマス、申ス迄モゴザイマセヌガ、燃料國策ノ充實ハ焦眉ノ急デゴザイマスガ、原料ノ關係上之ヲ日滿一體トシテ見マシテモ誠ニ寒心ス

ベキ狀況デゴザイマシテ、之ヲ解決スル爲ニハ内外油田ノ調査開發ハ勿論デゴザイマスルガ、人造石油業ノ大振興「アルコール」各種代用燃料ト申シマス、薪炭デアリマスルトカ、天然瓦斯トカ云フヤウナ、他ノ瓦斯ノ利用、斯ウ云フ事柄ガ皆一ツノ聯關シマシタ政策トナリマシテ、其ノ總テヲ進メテ參リマセスト、ナカ／＼足リナイヤウナ狀況デゴザイマス、ソレデアリマスルカラ、

陸軍ト致シマシテハ、其ノ中ノ最重要ナル一ツノ鍵ト致シマシテ「アルコール」ノ製造及ビ此ノ揮發油ノ混用之ニ非常ナ關心ヲ持ッテ居ル次第デゴザイマス、尙次イデニ申上ゲサシテ戴キタイト思ヒマスガ、此ノ專賣ニ付キマシテ陸軍ノ特ニ關心ヲ持ッテ居リマスノハ、今迄御述ベニナリマシタヤウニ短イ期間ニ澤山ノ「アルコール」ヲ而カモ確實ニ生産シナケレバナリマセヌノデ、ド

ウシテモ是ハ專賣ニ依ルヨリ外仕方ガナイト云フ一ツノ理由ト、價格ノ點ニ於キマシテ燃料政策上重大ナ關係ガゴザイマスルカラ、利潤ヲ目的トシナイ國營ニスル必要ガアリマス事柄ト、モウ一ツハ新タナル工業ト致シマシテ農村對策ヲ十分之ニ織込ム必要ガアル、是ガ爲ニハ唯利潤ヲ追フバカリデハナク農村對策ニ順應スルコトガ出來ナ

イト云フ三ツノ點ヲ特ニ考ヘマシテ、此ノ案ニ大ナル同意ヲシテ居ル次第デゴザイマス

○委員長(子爵梅小路定行君) 海軍ノ方ガ見エル迄御質問ガアレバドウゾ……

○眞野文二君 只今御説明ガアリマシタコトニ付テ關聯シテ一ツ伺ヒタイト思ヒマスガ……

○委員長(子爵梅小路定行君) 宜シウゴザイマス

○眞野文二君 今ノ御説明ニ依リマスト天然瓦斯ノ利用デアルトカ、又ハ他ノ燃料ニ付テモ御研究ニナッテ居ルヤウニ考ヘラレマスルガ、又サウ云フ風ニモ是迄承知シテ居ルノデアリマスガ、外國デハ此ノ國產燃料ヲ利用スル爲ニハ非常ニ研究努力シテ居ラレルヤウデアリマシテ、外國ノ新聞ヲ見マシテモ、段々サウ云フヤウナコトガ實用化

ノ域ニ達シテ來タヤウニ新聞デ承知スルノデゴザイマス、又承ル所ニ依リマス、英國ナドハ此ノ自動車ヲ利用シマス、自動車ニ使ヒマスル瓦斯溜ヲ丁度布袋様ノヤウニ上ヘ大キナモノヲ背負ッテ、ソレニ瓦斯ヲ溜メテ、其ノ瓦斯ヲ使ッテ自動車ヲ動かスト云フヤウナコトモヤッテ居ル、又ハ天然瓦斯ヲ壓縮シマシテ私ハ専門家デアリマセヌカ

ラ能ク存ジマセヌガ、重合トカ言ヒマシテ重ネマシテ使フト云フト大變ニ效果ガ良イト云フヤウナ實驗モ行ハレテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、其ノ他木炭カラ瓦斯ヲ取ッテ之ヲ燃料トシテ自動車ヲ動かスト云フヤウナ工業用ノ方ニサウ云フヤウナ石油ヲ今使ッテ居リマスル、石油ノ外ニ燃料ガ見イ出サレルコトニナレバ、自然油ヲ節約シテ行クト云フコトニナルノデゴザイマスルガ、其ノ方ニ付テ陸海軍其ノ他ニ於テモ御研究ニナッテ居ルト思ヒマスガ、御發表ニナッテモ差支ヘナイ限り伺ヒタイト思ヒマスガ、ドナカラデモ、政府委員ノ方カラ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(山脇正隆君) 薪ト木炭ヲ使ヒマシテノ自動車ノ運行ニ付キマシテハ、陸軍ノ自動車學校デ從來研究ヲ遂ゲマシテ、兩方共相當好イ成績ヲ示シテ實用ノ域ニ達シテ居リマス、尙「アルコール」バカリデノ自動車ノ運行、是モ實驗ヲ完了シテ居リマス、又今度法案ニ出テ居リマスル「アルコール」ノ混用ニ付キマシテハ、各種ノ比率ノ混用ニ付キマシテモ、研究ヲ終ッテ居リマス、大體サウ云フ程度デゴザイマス

○眞野文二君 今ノコトニ付テ尙伺ヒタイト思ヒマスガ、其ノ試驗ノ結果「エンデン」ノ出

ス力ニ付テドシナ模様デゴザイマスカ伺フコトガ出来レバ今マデノ燃料ト比ベマシテ劣ッテ居リマスカ、優ッテ居リマスルカ、ドウ云フヤウナ比較ニナッテ居リマスカ、代價ノコトモ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(山脇正隆君) チョット茲ニ細イ材料ヲ持合セテ居リマセヌガ、木材ヲ使ヒマシタ場合ニハ少シ落チルカト思ヒマスガ、殆ド工率ハ同ジト見テ宜イヤウデゴザイマス、値段ニ致シマススト木炭デストズツト安クナリマス、薪デスト尙安リナリマス、ソレカラ木炭自動車ハ現在東京市内デモ使ッテ居ルノガゴザイマスシ、又甲州街道ノ「バス」デモ使ッテ居ルウニ聞イテ居リマス

○眞野文二君 尙若シ分ッテ居リマスレバ「ディゼルエンジン」ヲ使ッテ居ルト云フヤウナコトガ外國ノ新聞ニ見ヘテ居ルヤウデスガ、日本デハマダサウ云フコトヲ聞イテ居リマセヌガ、若シ御分リニナレバ……

○政府委員(山脇正隆君) 陸軍デハ之ヲ今非常ニ研究シテ居ルノデゴザイマスガ、戦車ノ一部デモ使用シテ居リマス、新シイ中型ノ戦車ニハ使用シテ居リマス、尙實用ニ付キマシテハ民間デモ各方面デ研究ヲシテ居ルヤウデゴザイマス

○眞野文二君 有難ウゴザイマシタ

○委員長(子爵梅小路定行君) 拓務省ノ方ガ見エマシタカラ……

○子爵土岐章君 私仄聞スル所ニ依リマスト新義州ニ於テ木材ノ「シヨウラー」式ニ依ッテ「アルコール」工場ヲ作ラレルト云フコトデアリマスガ、之ニ付テ拓務省トシテ何カ御承知ノ點ガアツタナラバ御説明ヲ願ヒタイノデスガ、如何デセウカ

○政府委員(萩原彦三君) 朝鮮ニ於キマシテハ、無水酒精ノ製造ヲ木材ヲ原料トスル特許權ヲ使用シマシテ、製造シタイト斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレハ實ハ東拓ガ主ニナリマシテ、民間ノ資本ト合同致シマシテ、「ドイツ」ノ特許權ヲ買収シテ居リマスノデアリマス、其ノ特許權ヲ、新シク作リマシタ新義州ノ會社ガ特許料ヲ拂ッテ使用スルコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレハ大體只今ノ所、朝鮮内デ「アルコール」ノ中ニ混入スル無水酒精ヲ作ルト云フ規模ノ小サイモノデゴザイマシテ、新義州ナリ、或ハ對岸ノ安東縣ノ方カラ比較的澤山ニ木材ノ屑ガ集メラレマスノデ、其ノ木材ノ屑ヲ原料トシテ、無水酒精ヲ製造シヨウトスル會社デアリマス、マダ計畫中デゴザイマシテ、設立ニハナッテ居リマセヌ、大體ソナヤウナ譯デアリマス

○子爵土岐章君 只今ノ御説明ノ製造法ハ木材カラ砂糖ヲ作ルト云フ處理ノ製法デアリマスカ、或ハ更ニ昨日モ大藏省ノ技術員カラ御説明ガアツタヤウニ無水ヲ作ルト云フ爲ノ製造法デアリマスカ、其ノ點ノ一ツ説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(萩原彦三君) 此ノ東拓ヲ中心トシマスル會社ガ買収致シマシタ、「ドイツ」ノ特許權ト申シマスノハ「シヨウラー」法ト云フノ「ビヤグ」法ト云フノ二ツノ特許權デゴザイマシテ、「シヨウラー」法ト申シマスノハ木材ノ纖維素ヲ糖化致シマスル「パテント」デゴザイマス、ソレカラ「ビヤグ」法ト申シマスルノハ其ノ纖維素ヲ糖化シマシタコトニ依ッテ出来マシタ「アルコール」ノ中カラ水分ヲ取ル所謂脱水ヲスル所ノ「パテント」デゴザイマス

○子爵土岐章君 昨日政府ノ技術員カラ御説明ガゴザイマシタヤウニ、此ノ度計畫サレル内地ノ專賣工場ハ「トリクロールエチレン」ヲ以テヤルト云フコトデアルヤウデアリマスガ、更ニ此ノ「ビヤグ」法トノ比較ニ於テ、或ハソレヲ内地ノ工場ガ使フト云フヤウナコトニ付テハ、大藏省當局トシテハ御考ハナイノデアリマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 「ビヤグ」法

ラ内地ニ於テ使フカドウカト云フコトハマダ確定致シテ居リマセヌ、若シ朝鮮デ實施シマシテ、非常ニ成績ガ宜シケレバ是モ使ヒタイト思ッテ居ル次第デアリマス

○委員長(子爵梅小路定行君) 海軍ノ方ハ政府委員デナイサウデスガ、代リノ御方デモ差支ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵梅小路定行君) ソレデハ貴方カラ此ノ案ニ對スル海軍省ノ御考ヲ根本問題トシテ御話ヲ願ヒタウゴザイマス

○説明員(細谷信三郎君) 私、軍需局ノ二課長ノ細谷ト申ス者デゴザイマス、只今御質問ニナリマシタ「アルコール」ノ混用法、專賣法ト云フ問題ニ對スル海軍ノ見解如何ト云フ御質問ノヤウニ拜承致シタノデゴザイマスルガ、御承知ノヤウニ海軍ト致シマシテハ、其ノ海軍ノ兵力即チ海上部隊及ビ之ニクッ附イテ居リマス航空兵力ト申シマスノハ、油ガナケレバドウニモナラナイト云フコトニナッテ居ル譯デゴザイマシテ、從ヒマシテ、此ノ自給ヲドウシテモ圖ラナケレバナラスト云フコトハ、モウハ海軍ノ存立上絕對ノ要件デアル譯デゴザイマス、サウ致シマシテ、今日日本ノ燃料資源ト申シマスモノハ、度々商工大臣其ノ他カラモ

○政府委員(荒井誠一郎君) 「ビヤグ」法

○政府委員(荒井誠一郎君) 「ビヤグ」法

○政府委員(荒井誠一郎君) 「ビヤグ」法

○政府委員(荒井誠一郎君) 「ビヤグ」法

御説明モアツカト思ヒマスルガ、内地ニ於キマシテハ、今日非常ニ好況デゴザイマスルガ、僅ニ四十萬「キロ」ヲ少シ出タ程度デアル、北樺太ハ僅カニ十五六萬シカ出ナイ、及ビ滿洲ノ「シェール」ガ七八萬「キロ」出ルト云フヤウナ程度デゴザイマシテ、平時ノ四百萬「キロ」程度ノ需要ニ對シマシテモ、僅カニ一割ニ足ルカ足ラスト云フ情況デアリマス、今日ニ於キマシテ、平時ノ經濟上ノ問題ハ勿論ト致シマシテ、一朝有事ノ際ノ需給ノ均衡ト申シマスモノハ最早議論ノ餘地ハナイノダト、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマシテ、海軍ハ勿論其ノ出師準備ト致シマシテ、相當ノ油ハ自己存立上、國家ニ對スル國防ノ責任上持ッテ居ルノデハゴザイマスルガ、此ノ資源ノ貧弱ナル状態ニ於キマシテハ、マダノ努力致シマシテ、懸命ノ努力ヲ致シマシテ、ドウシテモ此ノ圓滿ナル補給ヲ圖リ、確實ナル方法ヲ付ケルト云フコトガ、國家ニ對スル我々ノ重大ナル責務デアアルノデハナイカト斯ウ傳統的ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、此ノ「アルコール」ト云フ問題ニ付キマシテ政府ガ計畫ニナリマス、大體七八年ノ後ニ於キマシテハ二十萬「キロ」程度ノ油ガ出ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思フノデア

リマス、詰リ此ノ油ノ代用品ガ出ルノデハナイカト斯ウ思ハレマス、此ノ二十萬「キロ」ト云フ數字ヲ統計ノ上ニ考ヘテ見マスト、昭和八年ノ日本ノ油ノ產額ト申シマスノハ、二十三萬「キロ」デアリマス、其ノ數字ト考ヘ合セテ見マシテ、日本ノ國內ノ或時期ニ於ケル全產額ト等シイ油ガ「アルコール」ニ依ッテ出ル、此ノ「アルコール」ト申シマスノハ、申上デマス迄モナク年々歳々新シク出テ來ル植物ヲ原料トスルト云フヤウナコトニナリマシテ、石炭其ノ他カラ採リマスモノノヤウニ段々掘リ盡シテシマッタラナクナッデシマフト云ッタヤウナモノデハナイノデアリマシテ、毎年新シク出來ルモノヲ原料ト致シマシテ、出來テ來ルト云フヤウナコトモゴザイマスノデ、サウ云フ意味合ニ於キマシテ我々ハ此ノ日本ノ燃料ノ自給ノ一ツノ方法ト致シマシテ、ドウシテモ此ノ問題ヲ取扱ッテ行カナケレバナラスト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス次第デゴザイマス、ソレデ然ラバ其ノ「アルコール」ヲ造ル方法ニ付テドウ云フ見解ヲ持ッテ居ルカト云フコトデゴザイマスガ、サウ云フ見地デヤリマス、即チ燃料政策ノ見地カラ參リマスレバ、低廉ニ豊富ニ供給サレルト云フコトガ必要デアアル譯デゴザイマ

シテ、科學ノ進歩シテ居リマス今日ニ於テハ各種ノ良イ方法ヲ採用サレマシテ、サウシテ豊富ニ低廉ニ供給シテ戴ケルヤウナ考慮ヲ御願ヒシタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居タ譯デゴザイマスガ、一方又農村對策ト云フコトガ今後當然考ヘラレル問題デアリマスノデ、其ノ方面ニ付キマシテハ又其ノ方面ノ考慮ガ必要デハナイカト考ヘテ居リマスガ、今日斯ウ云フ風ニ技術ノ進歩シテ居リマス世ノ中ニ於キマシテハ、有ラユル智慧ヲ絞リマシテ出來ルダケ安イ「アルコール」ヲ作ル、又一方農村救済ノ方ニ對シマシテハ出來ルダケ其ノ趣旨ニ合フヤウニヤッテ行クト云フコトガ、當然此ノ問題ヲ取扱フ上ニ必要デヤナイカ、斯ウ云フ風ナ考ヲ持ッテ居リマス

トヲ聞クノデアリマスガ、海軍御當局トシテハ、大體ソレニ對スル所ノ只今ノ御見込ト云ヒマス、御考ヘト申シマス、ドウ云フ風ナ實情デアアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○説明員(細谷信三郎君) 只今ノ御質問ノ點ハ、今後石炭ヲ原料トシマシタ人造石油ヲ作リマス上、ソレニ必要ナ技術ハドウカト云フ御質問ト考ヘテ宜シウゴザイマス

○子爵土岐章君 左様デゴザイマス

○説明員(細谷信三郎君) 御承知ノヤウニ石炭カラ油ヲ造リマス方法ニハ、石炭ト油ヲ適當量ニ混ゼマシテ、ソレヲ二三百氣壓ノ壓力ヲ以テ四五百度ノ溫度デ水素ヲ作用サセマシテ之ニ油ニ致シマス方法、之ヲ水素添加法、或ハ直接液化法トモ申シテ居リマスガ、サウ云フ方法ガ一ツアルノデアリマス、第二ノ方法ト致シマシテハ、石炭又ハ「コークス」カラ瓦斯ヲ造リマシテ、水性瓦斯ヲ造リマシテ、其ノ瓦斯ヲ二百度位ノ溫度デ或觸媒ノ上デ作用サセマシテ油ニ致シマス合成法ト云フ方法ガアルノデアリマス、第三ノ方法ハ、石炭ヲ五百度位ノ溫度デ乾留致シマシテ油ヲ採ルト云フ方法ガアル譯デゴザイマスガ、只今御質問ニナリマシタ特許ノ問題ハ、此ノ三ツノ方法ノ中ノ前二者ニ相當スル問題デアルト考ヘテ宜イ

ノヂヤナイカト思フノデアリマス、ト申シマスノハ、第一ノ直接液化法、水素添加法ト申シマスモノハ、既ニ私ガ此ノ席デ申上ゲルノモ失禮カトモ存ジマスガ、是ハ千九百二十七年ニ「ドイツ」ノ「ベルギユース」ガ工業化シタ方法デアリマス、是ハ「イー・ゲー」ト稱セラレテ居リマスガ、ソレガ今日「パテント」ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ「イー・ゲー」法ノ特許ハ千九百三十一年ニ「ローヤル・ダッチ」ト「イギリス」ノ「インペリアル・ケミカル」ト「ドイツ」ノ「イー・ゲー」ト「アメリカ」ノ「スタンダード」ト云フモノト聯合致シマシテ、「インターナショナル・ハイドロジェン・エネーション・エンジンヤリ」ング・アンド・パテント・コンパニー」ト云フモノヲ作ッタデアリマス、從ヒマシテ今日水素添加工業ヲヤラウ、詰リ直接液化ノ方法ヲヤラウト致シマスレバ、此ノ「ブール」即チ特許國ニ加入スルコトガ「一ツノ方法デゴザイマス、從ヒマシテ之ニ加入スル」ト云フコトニナリマスレバ、此ノ特許ヲ買ハナケレバナラスト云フコトニナル譯デゴザイマスガ、海軍ハ先程申上ゲマシタヤウナ此ノ燃料問題ノ事情ガゴザイマスノデ、ドウシテモ内地ノ天然資源ヲ開發スルト云フコトニ懸命ノ努力ヲスルト同時ニ、最モ

確實ニ油ガ採レルト云フ方法、詰リ石炭カラ油ヲ採ルト云フ方法ニ付テノ研究ヲシナケレバナラスト云フ方針ヲ定メラレマシタノガ大正十年デゴザイマス、爾來今日マデ研究致シテ參リマシテ、此ノ裝置ガ出來上リマシタノハ昭和七年デゴザイマス、其ノ後色々工業化ノ爲メノ必要ナル「データ」ヲ取リマス爲メノ研究ヲ致シマシテ、漸ク九年ノ秋ニナリマシテ、是ナラバ大體工業化シ得ルト云フ見當ガ付キマシタノデ、滿鐵ノ方ニ話ヲ致シマシテ、滿鐵ハ昭和十一年「パイ掛」カリマシテ、専門ノ技術者ノミナラズ色々滿洲化學トカ、其ノ外工業ニ非常ニ堪能ナ方ガ委員ニナラレマシテ、一年間慎重ニ審議サレマシテ、愈々是デヤツテ宜シイト云フ確信ヲ持チマシタ結果、昨年四月ニ撫順ニ工場ヲ起シタト云フ經緯ニナツテ居リマス、ソレカラ一方昨年ノ春朝鮮望素ノ野口遵氏ガ海軍省ヘ見エマシテ、自分ハ今日國家ノ燃料問題ノ現狀ニ鑑ミテ、液化事業ヲヤリタイ、斯ウ云フ話ガゴザイマシテ、海軍ト致シマシテ固ヨリ異存ノアルベキ筈ハナイノデアリマスカラ、同意致シマシテ、持ッテ居リマス特許ノ使用權ヲ許可スル、斯ウ云フ經緯ニナツタノデアリマス、今日海軍ノ持ッテ居リマス特許ハ色々ナ特許

ガゴザイマスガ、此ノ方面ノ關係ノ特許ハ合計二十四アリマシテ、尙只今申請中ノモノガ……是ハ或ハ數字ガ間違ッタカモ知レマセヌガ、五ツアッタト記憶シテ居リマス、其ノ外ニ燃料研究所ノ特許ガハツバカリアツタト思ッテ居リマスガ、勿論外國會社ノ特許モ日本デ取ッテ居リマス、今マデ御説明申上ゲマシタヤウナ經過デ御了解戴ケルコトト思ヒマスガ、今日此ノ直接液化ノコトハ日本ノ特許ヲ以チマシテヤリ得ルト云フコト「ニナツテ居ル譯デゴザイマシテ、外國ノ特許ヲ買ハナケレバナラスト云フ事情ニアル譯ハナイ譯デアリマス、今日色々「ドイツ」アタリカラモ人ガ參ッテ居リマシテ、賣込ミノコトヲヤツテ居ルヤウデゴザイマスガ、勿論先程申上ゲマシタヤウニ、「ドイツ」ハ千九百二十七年カラズットヤツテ、モウ工業化シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ技術ニ對シテハ相當敬意ヲ表シテモ宜イノヂヤナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、飽マデ之ヲ排他的ニ考ヘルト云フ考ヘハ持ッテ居ラナイノデアリマスガ、海軍ガ今日ノ結論ニナリマスマデニハ、「ドイツ」ニ日本ノ石炭ヲ送リマシテ、「ベルギユース」ノ所デ實驗ヲ致シマシタリ、又「ウー・デー」法ト云フヤウナモノニ對シテモ人ヲヤツテ研究サセル

ト云フコトヲヤツタノデアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ決シテ排他的ヂヤナイ、獨善主義ヂヤナイ、良イ技術ナラバ條件次第ニ依ッテハ買ッテモ宜イト云フコトデ研究シタノデアリマスガ、我々ノ其ノ當時ノ研究ノ狀況ニ依リマス、相當高イ特許料ヲ拂ハナケレバナラスト云フコトモ勿論アリマスシ、金バカリデナク、其ノ生産量ニ制限ヲ付ケラレルト云フコトモアリマス、又設立致シマス會社ノ株、詰リ決議權ト申シマスカ、サウ云フ方面ニ付キマシテモ相當強イ要求ガアルト云フヤウナコトガアリマスノデ、斯クテハ到底日本ノ存立ニ關係スル大切ナ燃料國策ニ對シテハ困ルト云フヤウナ結論ニナリマシテ、モウ外國ノ世話ニナラナクテモ獨自ノコトデヤラナケレバナラス、又ヤルベキダト斯ウ云フ考デ進ミマシテ、先程申シマシタ結論ニナツタ譯デアリマス、其ノ次ノ合成法ノ特許ノ問題デゴザイマスガ、是ハ昨年ノ春頃カラ三井物產ガ交渉致シマシテ、今日其ノ特許ヲ買ッテ持ッテ居ルノデアリマスガ、ソレハ内地、臺灣、滿洲、北支皆含シダ特許ヲ取ッテ居ル譯デアリマス、大體甚ダ大難把デゴザイマシタガ、特許ノ經緯、技術ノ經緯ト申シマスモノハソレデ御了解願ヒタイト、斯ウ考

ヘルノデゴザイマス

○子爵土岐章君 只今ノ御説デ能ク分リマシタ、我々ハ燃料國策ノ上カラ御當局ガ大丈夫ダト云フ御確信ガアレバ、ソレデ満足スル者デアリマシテ、益、完全ナル人造石油ト云フヤウナモノガ出來ルコトニナリマスレバ、ソレデ非常ニ結構ダト思フ次第デアリマス、御説明有難ウゴザイマシタ

○説明員(細谷信三郎君) チョット一言附加ヘサシテ戴キタイト思ヒマスルガ、只今ノ御話ゴザイマシタ此ノ燃料問題ハ國策トシテ當然ヤルベキモノデゴザイマスルノデ、色々ノ計畫ガアル譯デゴザイマシテ、殊ニ此ノ人造石油問題ト、斯ウナリマス、技術ニ非常ニ關係ガアルト、斯ウナッテ参リマスノデ、先般御説明致シマシタヤウニ、外國デハ國際的ニ之ヲヤッテ居ル、而モ「ドイツ」デハ「オッパウ」ニ「ビー」博士ヲ首班ト致シマシテ、四五十名ノ有能ナ技師ガ居リマス、「アメリカ」ノ「スタンダード」ニハ「ベートンルーヂュ」ニ研究所ガアリ、英國ノ「イムペリアル・ケミカル」ハ「ベリンガム」ニ研究所ガアリ、「ローヤルダッチ」モ「アムステルダム」ニ研究所ヲ持ッテ居リマス、斯ウ云フヤウナコトニナリマシテ、ソレ等ハ各、獨自ニ必要ナ研究ヲシテ居ル上ニ、

互ヒニ國際的ニ技術ヲ交換致シテ居ル譯デアリマス、斯ウ云フ状態ニ對應致シマシテ、日本ト致シマシテモ、ドウシテモ國內ノ技術ノ連絡、統制ヲ圖ラナケレバナラスノデ、之ヲ抛ッテ置キマシテ、ソレノ「ガ自分勝手」ナコトヲヤッテ居ッテ、連絡モナケレバ、統制モナイ、サウシテ重複シテ研究ヲヤルトカ、或ハ又御互ヒニ祕密主義デ自分ノ城郭ニ立籠ッテ居ルト云フヤウナコトデハ、彼ハ國際的ニサウ云フヤウナコトヲヤッテ居リ、獨自デヤルバカリデナク國際的ニ、相互的ニ研究ヲヤッテ居ルノニ、コチラガ國內デ統制ガ取レナイト云フヤウナコトデハ、到底彼ヲ凌駕スルコトハ出來ナイノデアリマス、ト云フヤウナコトモ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、其ノ方面ニ付テモ深甚ナル考慮ヲ拂ヒ、サウシテ十分其ノ目的ヲ達成サセルト云フコトガ、私ハ國家ノ爲ニ最モ必要ナコトデヤナイカト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、一言附加ヘテ置キマス

○子爵土岐章君 只今重ネテ技術ノ問題其ノ他カラ言ッテモ、統制ガ必要ダト云フ、斯ウ云フ御意見ガ出マシタコトニ對シマシテハ、我々モ誠ニ同感デゴザイマス、併シナガラ其ノ點ニ付テハ先程モ海軍ノ御方ガ御見エニナラナカッタノデアリマスガ、陸軍其

ノ他ノ方ニ對シテ希望ヲ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、私ハ今マデノ日本ノ技術方面ノ研究ガ甚ダ不統制ダッタト云フコトニ付テハ、ドウシテモ否ムコトハ出來ナイト思ヒマス、昨日モ黒野博士カラ「アルコー」ノ製造ニ付テ色々御説明ガゴザイマシタガ、特ニ此ノ度「シヨウラー」法ヲ東拓ヲシテ行ハシメルト云フコトニ付テモ、之ニ對抗スベキ「アルコー」ノ製造方法ガ「ドイツ」ニアルト云フコトモ我々ハ聞イテ居ルノデアリマスガ、是等ニ付テ果シテ如何ナル比較、研究ヲサレテ居ラレマスカト云フコトニ付テハ、兎ニ角ソコデ御研究ガアツタカ存ジマセスガ、足リナイト云フヤウナ感じガ致スノデアリマス、尙統制ト云フコトニ付テ重ネテ是ハ陸軍ノ政府委員ニ伺ヒタイノデアリマスガ、今日燃料ノ問題ト云フヤウナコトハ、同時ニ之ヲ利用スル所ノ色々ノ方面ガゴザイマスルガ、或ハ自動車工業ト云フモノニ付テ、此ノ問題ト關聯ヲ致シマシテ一言伺ヒタイノデアリマスガ、丁度前議會ニ於テ自動車工業法案ガ出來マシテ、日本ノ自動車ト云フモノハ内地產ノモノヲ以テヤルノデアルト云フヤウナコトデ、決メラレテ、今日「トヨタ」自動車、或ハ日產自動車ト云フヤウナモノヲ主トシテ製造

スル、其ノ外ニ共同自動車、或ハ二、三ノ其ノ他ノ工場デ内地產ノ自動車ヲ造ッテ居ルヤウデアリマス、是ハ法律ニ依ッテ相當ナル保護ヲサレテ居ルヤウデゴザイマスルガ、ドウモ我々ノ考ヘル所デハ、此ノ儘デハ日本ノ自動車工業ト云フモノガ發達スベクシテシナイノデハナイカ、只今モ石油ノ問題ニ付テサヘモ、英國其他「アメリカ」「ドイツ」等ノ有ユル各國ノ會社ガ、自分ノ技術ヲ持ッテ居ルバカリデナイ、斯ウ云フモノノ間ニ連絡ヲ取ッテ、サウシテ、益、其ノ方面ノ研究ヲ進メテ居ルト云フニ拘ラズ、日本ダケハ自動車工業ニ於テ日本ダケガ閉ヂ籠ッテ、サウシテ其ノ工業ヲヤラウト云ッテモ、世界的ニ非常ニ進歩シテ居ル、自動車工業トシテハ私ハナカノ其ノ進歩ニ對シテ追著クコトガ出來ナイデヤナイカ、先程來「パテント」ノコトニ付テ色々伺ヒマシタガ、ドウモ其ノ點ニ付テ餘リ急ナルガ爲ニ、外國ノ技術ヲ採入レルト云フコトニ對シテ狹量デハナイカト云フ感ガサレルノデアリマス、今日日本ニ於テ外國カラ入ッテ居リマス所ノ自動車ガ、「ゼネラル・モーターズ」或ハ「フォード」トカ云フ工場ノ物ガ販賣セラレテ居リマスルガ、是等ニ對シテ外國ノ技術ヲ採入レラレテ、モット早く優秀ナルモノヲ

造ラレルト云フコトニ對シテハ、陸軍當局ハ又御考ガアルノデゴザイマスガ、ドウカ其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイノデゴザイマス

○政府委員(山脇正隆君) 御答ヘ致シマス、

是ハ御承知ト思ヒマスガ、現在ノ狀況ヲ申上ゲマス、トヨダノ方ハ「トラック」ハ立派ナモノガ出デ居ルノデゴザイマスガ、乗用ノ方ハ其ノ機能ノ方ハ宜シウゴザイマスケレドモ、細カイ所デ免角マダ非難ガゴザイマシテ、尙若干ノ修正ヲ要スル所ガアルヤウニ、會社ノ方モ自覺シテ居ルヤウデゴザイマス、遠カラズ完全ナルモノガ出來ルト期待シテ居リマス、日産ノ方ハ「アメリカ」ノ方カラ其ノ儘機械技術ヲ持ッテ參ッテ居ル問題デゴザイマスカラ、間モナク出マスモノハ初メカラ立派ナモノガ出來ハシナイカト期待シテ居ルノデゴザイマス、ソレデ昨年自動車事業法ガ出來マシタガ、其ノ成果ハ今後ニ見ナケレバナライ狀況デゴザイマス、之ヲ發達サセル爲ニハ事業法バカリデハ決シテ満足ガ出來マセヌノデ、國產自動車ノ普及ニ對シマシテハ、技術方面ノ進歩ハ固ヨリ尙經濟方面其ノ他ニ付キマシテモ、十分見テヤラナケレバナラスモノト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、此ノ自動車工業發達ノ爲ニ、外國ノ技術ノ長所ヲ採入レルト云

フコトハ、其ノ必要ハ御説ノ通りデゴザイマシテ、私共モ良イモノハ採入レテ行カナケレバナラスト考ヘルノデゴザイマスルガ、只今非常ニ困ッテ居リマスノハ、各種ノ自動車ガ集ッテ居リマシテ、戰時ノ部品ノ交換ト云フコトガ、陸軍トシテハ大問題ニナッテ居ルノデアリマスカラ、國產ノ自動車工業ヲ確立スルト共ニ、努メテ單一ナ方法デ行カナケレバナラスト云フコトハ、同時ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○子爵土岐章君 只今「トヨダ」ノ「トラック」

ハ完全ナルモノダト云フ御話ガゴザイマシタノデ、恐ラクサウデアラウト考ヘマスガ、我々ガ仄聞スル所ニ依ルト、ドウモ燃料ガ餘計要ッテ困ル、ソレカラ使ヘルケレドモドウモ外國ノ品ト比較スルト、非常ニ劣ッテ居ルト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、是等ニ付テモ今日燃料問題ト云フモノト、ソレカラ之ヲ使フ所ノ自動車ト云フモノニ付テハ、ドウシテモ不即不離ノ關係ニアル譯デアリマシテ、「ドイツ」其ノ他英國等ニ於テハ「ゼネラルモーターズ」關係ノ「ドイツ」ニ於テハ「オペール」、英國ニ於テハ「バックスホール」ノ「オースチン」ト云フヤウナ工場ニ於テハ、燃料ニ重點ヲ置イテ益、性能ノ良イモノヲ、是等ノ工場ガ技術ノ

交換ラシテヤッテ居ルヤウニ承知シテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテモ勿論國產品デ總テ間ニ合セルト云フコトガ多年ノ持論デアリ、サウナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、尙更ニ兎角技術方面ニ關係シテ居ル方々ハ、自分ノ技術ト云フモノニ囚ハレテ、サウシテ他ヲ容レルト云フコトニ對シテ、兎角技術的立場カラ其ノ點ガ缺ケテ居ルヤウナドウモ嫌ヒガアルヤウニ我々考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、勿論我々トシテハ完全ナモノガ供給サレ、一朝有事ノ際ニハ利用サレルト云フコトニ付テハ、十分役立つト云フコトデ頼モシイコトデアリマスケレドモ、更ニ外國ノ進歩ト云フモノニ對シテ遅レナイト云フ立場カラ致シマシテ、只今私ガ申上ゲマシタ點ニ對シテ一層ノ研究ヲ致サレルト云フコトニ對シテ、當局ニ私ハ希望ヲ申上ゲテ置キタイト考ヘマス、私ハ是デ質問ハ打切りマス

○委員長(子爵梅小路定行君) チョット御

諮リシマス、段々會期モ切迫致シテ參リマシタカラ成ルベク早く結了シタイノデスガ、今此處デ休憩ヲ致シマシテ、午後又再會ヲ致シタイノデアリマスガ、差支ゴザイマスマイカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵梅小路定行君) ソレデハ一時休憩ヲシテ、午後一時半カラ再會ヲ致シマス

午後零時三分休憩

午後二時八分開會

○委員長(子爵梅小路定行君) ソレデハ午

前ニ引續イテ開會致シマス、今御覽ニナリマシタガ、「ガソリン」「アルコール」混用ノ試験ヲ御覽ニナリマシタガ、アノ混用シタモノヲ自動車ノ燃料トシテ用ヒタ成績ニ付テ、陸軍省ノ方カラ其ノ成績ノ御話ヲ申上ゲタイト云フノデアリマス、承ルコトニ致シマス

○説明員(長谷川基君) 私ハ陸軍省ノ戰備

課長ノ長谷川デゴザイマス、技術モ暗クゴザイマスルノデ、十分ナル御説明ガ出來マセヌト思ヒマス、此ノ混用ニ付キマシテハ技術的ニ自動車學校ヲシテ數年前ヨリ此ノ研究ヲ致シテ居リマス、自動車學校ハ各種ノ平地、山地、或ハ混合燃料ノ配合ラ色々變ヘマシテ、又油ノ程度、「アルコール」ノ程度モ色々變ヘマシテ、種々試験ヲ致シマシテ、此處ニ試験報告ヲ昨年出シテ居リマス、此ノ要點ヲ是カラ申上ゲマス、第一ハ此ノ燃料消費量デゴザイマスルガ、此ノ結

論ハ大體固有壓縮比ヲ利用スル場合ニ於キマシテハ、「アルコール」ヲ二十「パーセント」以下混ぜマシタル混合燃料ハ揮發油單體デ使フ場合ト其ノ消費燃料ニハ著シキ相違ガゴザイマセヌ、尙此ノ壓縮比ヲ固有ノ儘ト致シマシテ、實地試驗ヲ致シマシテ結果ニ依リマスルト、平地ニ於キマシテハ混合燃料ノ方ハ單體揮發油ヲ使ヒマシタル場合ニ比較致シマシテ、約二「パーセント」程増加ヲ消費量ガ致シマス、之ニ反シテ山地、即チ山道ノ方デ試驗ヲ致シマシテ結果ハ却テ混合燃料ノ方ガ二・六「パーセント」位消費量ガ少クゴザイマス、壓縮比ヲ少シ高メマシテ、六乃至六・六ト云フヤウナ程度ニ致シマシテ試驗ノ結果ニ依リマスルト云フト、此ノ混合燃料ハ却テ單體揮發油ヲ使ヒマシタニ比ベマシテ、五乃至八「パーセント」減少ヲ示シテ居リマス、少クテ濟ムノデゴザイマス、併シ此ノ色々文獻等デ、米國ナドニ於キマシテ試驗ヲシタ結果ヲ見マスルト云フト、今申上ゲマシタ成績ノ反對ノヤウナコトガ出テ居ルサウデゴザイマス、ガ何レニシテモ此ノ消費量ハ混合燃料ト單體燃料トニ於テ大差ガナイノデアヲウト信ゼラレルノデゴザイマス、又「スエーデン」「ドイツ」等ノ試驗ヲシタモノハ概

ネ此ノ混合ヲシタモノト單體ヲシタモノトノ間ニモ矢張り大差ガナイト云フコトヲ申シテ居ルヤウデゴザイマス、以上ハ此ノ消費量ノ關係デゴザイマス、次ハ此ノ「オクタン」價ノコトデゴザイマスルガ、「アルコール」ノ混合燃料ノ「オクタン」價ハ揮發油ノ單體ニ比シテ高クゴザイマス、從ッテ燃料ニ一番適シテ居リマスル壓縮比ヲ使用シタ場合ニアッテハ、此ノ混合燃料ノ方ハ揮發油單體ニ比ベマシテ餘程效果ガ大デゴザイマス、其ノ次ハ只今試驗デ御覽ニナリマシタ此ノ濕氣ヲ吸フト云フ性質デゴザイマス、此ノ「アルコール」ノ混合燃料ハ水ノ混入ニ依リマシテ分離ヲ起ス性質ガアルト云フコトハ只今御覽ノ通りデゴザイマス、其ノ分離ノ性質ハ「アルコール」ヲ少ク混ぜレバ混ザル程分離シ易イ所ノ性質ガゴザイマス、濕氣ヲ吸ウテ分離スルト云フ程度ガ大トナルノデゴザイマス、併シ此ノ水ニ耐ユル所ノ耐濕度ハ容器ヲ密閉シテ置キマシタ場合ニ於キマシテハ殆ド變化ヲ見ナイノデゴザイマス、又容器ヲ開放シタ場合ニ於キマシテモ次第々々ニ其ノ分離程度ガ出ルト云フ傾向ヲ持ッテ居リマス、實驗ノ結果ニ依リマスルト、一月箇ノ間容器ヲ開イテ放置シテ置キマシテモ殆ド變リヲ見ナイノデゴザイ

マス、唯若干分離ノ傾向ヲ認ムルノデゴザイマスルガ、是ハ使用上差支ヲ生ジナイト云フコトニ結論附ケラレテ居リマス、即チ此ノ混合燃料ハ取扱ノ上ニ濕氣ヲ吸フ所ノ爲ニ、却テ取扱方面倒デハナイカト云フ心配ハ左程ナイデアヲウト云フ今見當デゴザイマス、始動ノ難易ニ付キマシテ……是ハ昭和十一年ノ一月乃至二月極寒ノ交ヲ選ビマシテ朝鮮ノ北端ニ於テ實驗ヲ致シマシタ、混合燃料ハ二十「パーセント」ノ混合デゴザイマス、溫度ハ零下二十度附近デゴザイマス、此ノ場合ニ於キマシテ始動ノ難易ハ揮發油ノ單體ト大差ガ無イト云フコトヲ認メタノデゴザイマス、其ノ次ハ金質或ハ塗料ニ及ス所ノ影響デゴザイマス、混合燃料ガ金質ニ及ス影響ニ付キマシテハ、特ニ惡イト云フコトヲ認ムル事項ハゴザイマセヌガ、唯「エナメル」ノヤウナ塗料ニ對シマシテハ揮發油單體ノモノニ比ベマシテ、ソレヲ溶カス所ノ作用ガ強クゴザイマスルカラ、此ノ點ハ注意セネバナラス、斯ウ云フコトデゴザイマス、以上ガ此ノ報告ノ要旨デゴザイマシテ、色々實驗ヲシマシタ所ノ「データー」ナドガ澤山ゴザイマスルケレドモ、私ハ技術ノ方面ニ暗ウゴザイマスルカラ、簡單ニ其ノ要點ケテラ申上ゲテ置キマス

○子爵土岐章君　チヨット伺ヒマスガ、今ノ五「パーセント」カラ八「パーセント」ト云フコトデスガ、ドウ云フ割合デスカ、一番初メニ御説明ニナリマシタ、平地、山地、ソレカラ……

○説明員(長谷川基君)　是ハ壓縮比ヲ六乃至六・六程度ニ高メタ場合ニ於キマシテ混合燃料ハ却テ五乃至八「パーセント」少ク要ルト云フノデアリマス

○子爵土岐章君　甚ダ恐縮デゴザイマスガ、私モウ二三點伺ヒタイ、此ノ「アルコール」混合燃料ヲ致スニ付キマシテ何レ工場ガ出來マス、政府ノ專屬工場ガ出來マスナリ、或ハ依託工場ガ出來マスニ致シマシテモ、ソレマデノ今年申ノ御計畫ト云フモノガ恐ラク御有リニナルト思ヒマスルシ、又昭和十九年度ニハ總テ二十「パーセント」マデ混ザルノダト云フコトデゴザイマスルガ、ソレニ付テノ大體ノ……詳シイコトハ要リマセヌガ、今臺灣カラ入ッテ來ルモノハ大體下ノ位デ、サウシテイツ頃カラ無水「アルコール」ノ製造ガ開始サレテ、サウシテ政府ノ手ニ入ッテ、大體斯ウ云フ風ナ計數デ此ノ位ノ見込ダト云フ……大體デ宜シウゴザイマスガ、承リマシテ、ソレニ附隨シテ其ノ間政府ニ於ケル所ノ損失ト云フモノガドノ位

ノ額ニナッテ來ルノカト云フ御見込ガアルト思ヒマスガ、其ノ數量、同時ニ金ノ御見込ト云フモノニ付テハ、政府カラ説明ヲ願ヒマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 只今御尋ノ混

用ニ關スル計畫竝ニ揮發油混用ヲ始メマシテ、ソレガドウ云フ損益計算ニナルカト云フコトニ付キマシテ一言申述ベタイト思ヒマス、揮發油ノ「アルコール」混用法ハ、昭和十三年ノ四月一日カラ施行ノ豫定デアリマスガ、此ノ混用法ノ附則ノ第二項ニ、施行後、混用實施ノ猶豫期間ト云フモノガアルノデアリマスガ、此ノ猶豫期間ニ約二箇月位ハ見テ置ク方ガ安全デハナカラウカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ「アルコール」ヲ賣渡シマスルノハ先ヅ昭和十三年ノ五月中旬頃カラ賣渡ス計畫ニナリマシテ、昭和十三年度ニ入リマス「アルコール」ハ約十六萬五千石程ニナル計算ニナッテ居リマス、而シテ政府ト致シマシテハ、此ノ法律ガ通りマシテ、又豫算ガ通りマスレバ、直チニ工場ノ建設ニ掛ルノデアリマスガ、豫算ニ於キマシテハ大體二萬石ノ工場ヲ七箇所ニ造ル豫定デアリマシタガ、併シナガラ物價ガ非常ニ騰貴致シマシタ、殊ニ鐵材ノ騰貴ニ依リマシテ、大體五箇所

ノ見込ニ相成ッテ居ルノデアリマス、只今敷地ノ選定中デアリマスガ、先ヅ方面ヲ申シマスレバ、關東地方デハ千葉、茨城地方ガ甘藷ノ主産地デアリマシテ、其ノ方面ニ設ケマスルノト、九州ニ於キマシテハ鹿児島、宮崎、熊本方面ニ設ケタイト思ッテ居リマス、合シテ五箇所ノ工場ガ出來ルノデアリマスガ、是ハ出來ルダケ早く完成致シマシテ、製造ヲ始メタイト思フノデアリマス、併シナガラ是ハ來年ノ二月頃、早くテモ一月頃ノ事業開始トナルカト思ヒマス、ソコデ十二年度ニ出來マスル「アルコール」ガ政府工場デ二萬石位ノ豫定ニ考ヘテ居リマス、十三年度ニ於キマシテハ、更ニ十二萬石位政府工場デ「アルコール」ガ出來ルモノト考ヘマス、ソコデ大體十四萬石程度ノ「アルコール」ヲ政府工場デ造リマシテ、ソレカラ今日民間ニ於キマシテ昭和酒造其ノ他小規模デアリマスガ既設ノ工場ガアリマス、之ニ於キマシテハ無水ノ「アルコール」ヲ造ル計畫ガアリマシテ、先ヅ四萬石程度ノ「アルコール」ガ出來ルデハナカラウカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、サウ致シマスルト、十八萬石ノ「アルコール」ガ出來ルノデアリマス、尙樺太ニ於キマシテハ「パルプ」ノ廢液カラ小規模デハアリマスガ、「アルコー

ル」ヲ造ル計畫ヲ王子製紙ニ於テ立テテ居ルノデアリマスガ、是ハ試驗的デアリマシタガ、モウ機械ノ註文モ致シテ居リマスノデ、十三年度ノ四月頃カラ製造ヲ開始スル豫定ニナッテ居リマシテ、三千石餘ノ「アルコール」ヲ政府ニ買上ゲテ貰ヒタイト云フコトヲ申シテ居リマス、是ガ約三千四百石ト豫定致シテ居リマス、ソレカラ臺灣ニ於キマシテモ、將來相當ノ増產計畫ヲ立テマシテ、少クトモ内地ニ對シマシテ六十萬石ノ「アルコール」ヲ供給スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、是ハ原料トシマシテハ、或ハ甘蔗、是ハ唐黍ノ方デアリマスガ、ソレカラ薩摩諸、其ノ方ノ甘蔗モ原料トシテ作リタイト云フコトデアリマシテ、今日糖蜜ノ方ハ大體工業用ノ酒精ヲ造ッテ居リマスカラ、糖蜜ノ方ハ餘リ餘裕ガナイヤウニ承知シテ居リマス、併シ甘蔗ナリ薩摩諸ナリ、之ヲ原料トスル、或ハ「バカス」ト申シマスカ、ソレモ原料トスルト云フ研究モ致シテ居リマスノデ、約二萬石程度ノ酒精ハ昭和十三年度ニ供給サレルコトデアリマス、斯ウ云フコトニ致シマシテ大體昭和十三年度ニ於キマシテハ、先ヅ二分五厘ノ所要量ヲ得ルコトニナッテ居ルノデアリマス、其ノ後ニ於キマシ

テハ、政府ノ製造工場モ殖エマスルシ、民間等ニ於キマシテモ今日デハ東北振興株式會社ニ於キマシテモ、馬鈴薯ヲ原料トシテ、東北振興ノ爲ニ此ノ工業ヲヤリタイト云フ計畫モアルノデアリマス、又政府工場ト致シマシテモ、甘藷バカリデアリマセヌノデ、十三年度カラハ北海道ニ於キマシテ、馬鈴薯ヲ原料トスル工場モ出來ル計畫ニナッテ居ルノデアリマスガ、又臺灣カラノ増產モ出來ルト思ヒマス、斯ウ云フ風ニ致シマシテ、漸次原料ノ増產、政府工場ノ設置及ビ民間工場デ作リマスモノト、ソレカラ臺灣カラ移入シマスモノ、是等ヲ合セマシテ段々混用率ヲ殖シテ參リタイト思フノデアリマス、サウシテ昭和二十年度ニナリマスレバ、完全ニ二割ノ混用ト云フコトガ行ハレルト思ヒマス、然ラバ之ニ依ッテ政府ハドノ位ノ損失ヲ蒙ルガラウカ、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス、今日ノ豫定ト致シマシテハ、先ヅ「アルコール」ノ生産費ガ「ガロン」ニ付キマシテ六十八錢四厘程ノ計算ニナッテ居リマスガ、之ヲ「ガソリン」ノ市價ヲ高ク致シマセヌ爲ニ、先ヅ五十四錢位ノ價格デ賣ッたらバ宜クナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ強制的ニ混ぜサセルノデアリマスカラ、當業者ニ不利

益ガアリマスレバ、ナカ／＼之ニ應諾致シテ參ラナイノデアリマス、從ヒマシテ當業者ニ不利益ノナイヤウナ計算デ賣渡スト云フコトガ必要カト思フノデアリマス、之ニ依ッテ政府ノ損失ガ「ガロン」ニ付テ十四錢餘ノ損失ニナルノデアリマス、サウシテ昭和十三年度ニ於キマシテハ、此ノ二分五厘ノ混用ニ依リマシテ、其ノ賣渡價格ノ損ガ百二十八萬五千圓程ノ計算ニナリマス、併シ延納等ノ關係カラ致シマシテ、專賣局ノ會計ト致シマシテハ、二百萬圓程ノ損失ニナルノデアリマス、十四年度モ矢張り二百萬圓少シ上ノ損失デアリマス、其ノ後漸次増加致シマシテ、昭和二十年度ニナリマスルト、約八百萬圓ノ損失ガ生ズルノデアリマス、併シ是ハ原料關係ニ依ルノデアリマシテ、原料ガ生甘諸デ只今七錢ト豫定シテ居リマスガ、是ガ一錢安クナリマスレバ、「ガロン」ニ付テ「アルコール」ノ生産費ガ七錢違フト云フコトデアアルノデアリマス、我々ノ計算ト致シマシテハ、先ヅ甘諸モ非常ニ増産モ出來、品種ノ改良モ出來マスレバ、其ノ原價モ安クナリハセヌカト考ヘテ居ルノデアリマシテ、只今八百三十萬圓ノ損失ト申シマシタノハ、是ハ甘諸ヲ六錢ト致シテ計算致シタノデアリマス、若シ七錢

トシテ計算致シマスルト、約其ノ倍額ノ損失ヲ生ズル次第デアリマス、是ハ將來七年後ニ於キマシテ「ガソリン」ノ價格ガ幾ラニナルカ、又甘諸ノ價格ガ幾ラニナルカト云フ計算ガ、此ノ損失ニ重大ナル影響ヲ及スノデアリマス、其ノ間技術ノ進歩ニ依リマシテ生産費ノ低下ヲ圖リタイト思フノデアリマスルガ、主トシテ原料ノ價格、ソレカラ「ガソリン」ノ價格ト、之ニ依リマシテ政府ノ損失ガ茲ニ決ッテ參ルノデアリマス、唯茲ニ附加ヘテ申シマスルノハ臺灣カラ今度「アルコール」ヲ移入致シマス、之ヲ政府ノ專賣ト致スノデアリマスガ、是ハ主トシテ工業用ニ使ハレルノデアリマシテ、殆ド利益ハナイノデアリマスガ、其ノ中一般用ニ使ハレル「アルコール」モアリマス、其ノ外内地ノ生産ノ「アルコール」デアリマシテ、九十四、五度ノモノデ藥用等ニ使ハレルモノモアリマス、其ノ利益ト致シマシテ三百六十萬圓程ノ利益ガアリマス、ソコデ「アルコール」專賣全體ト致シマスルト、此ノ十三年ニ於キマシテモ二百三十萬圓程ノ利益ニナリマス、十四年度、十五年度ニ於キマシテモ亦全體ノ計算ハ利益ニナッテ參ルノデアリマス、十六年度ニナリマシテ混用スベキ「ガソリン」……非常ニ精酒ヲ混用スベキ

「ガソリン」モ殖エルノデアリマシテ、十六年度以降ズット損ガ參ルノデアリマス、若シ甘諸ヲ六錢ト致シテ計算シテ先程ノ八百萬圓ノ損失ト云フコトニナリマスルト、全體ノ計算トシテハ工業用ノ……普通ノ「アルコール」ノ賣渡ノ利益ヲ差引キマシテ三百八十萬圓程ノ損失ニナル計算ニナッテ參リマス、又是ガ甘諸ヲ七錢ト計致シマスルト、ソレガ一千萬圓ヲ超エル損失ニ相成ルノデアリマス、而シテ專賣局會計ト致シマシテハ、是ハ個々ニ中デハ區分ハ致シマスルガ、煙草ノ益金等トモ通ジテ計算シマスルノデ、結局其ノ益金ガ減ルト云フ計算ニ相成ル次第デアリマス

○委員長(子爵梅小路定行君) 念ノ爲ニチヨット申上ゲテ置キマスガ、私昨日申上ゲタノハ兩案トモ議題ニシテアリマスカラ其ノ御積リデドウゾ……、混用ノ方モ專賣ノ方モ兩案トモ同時ニ議題ニシテアル積リデゴザイマスカラ

○男爵北島貴孝君 工業用ノ「アルコール」ニ付テ專賣ニスル必要ガアルト云フコトガ此處ニ書イテアリマスガ、臺灣ノ「アルコール」ハ殆ド工業用デアアル、是ハ專賣ニスル理由ガ色々衆議院デハ論議サレテ居ルノデスガ、闡明ナル理由ハドウ云フコトニ

アルノデスカ

○政府委員(荒井誠一郎君) 工業用ノ「アルコール」ハ九十四五度ノモノデアリマシテ、結局ハ同ジモノデアリマスルガ、含水……水ヲ幾分含シテ居ルモノデアリマス、從ヒマシテ之ヲ「ガソリン」ニ混ゼテ使ヒマス場合ニハ或安定劑ガ必要ナノデアリマス、而シテ此ノ安定劑ハ先程御覽ニナリマシタル通り、今日出來テ居ルノデアリマスケレドモ、其ノ數量ガ極メテマダ少イノデアリマス、併シ一方ニ於キマシテ石炭油化ノ仕事ガ進ミマスレバ、其ノ方ニ於キマシテ水素添加「アルコール」ト云フ安定劑モ多量ニ出來ルノデアリマシテ、之ヲ混ゼマスレバ必ズシモ無水ニ致スト云フ必要モナクナルノデアリマス、サウ致シマスレバ政府ト致シマシテモ之ヲ造リマスノニ生産費モ安ク出來ル次第デアリマシテ、若シ安定劑ガ大分澤山ニ出來マスレバ、普通ノ工業用ノ「アルコール」ト云フモノガ燃料ニ使ハレルノデアリマス、モトハ之ヲ使ッテ、含水「アルコール」ヲ燃料ニ使ッテ居ッタノデアリマスガ、無水ノ方ガ非常ニ都合ガ宜シイト云フコトカラ、無水ニ段々變ッテ來タ沿革モアリマスガ、斯クノ如ク致シマシテ兩者ハ矢張り同様ニ扱フ方ガ燃料政策カラ見テ宜シクハ

ナイカ、又今後内地ニ於キマシテ無水「アルコール」ヲ造ッテ参リマス際ニモ、九十四五度ノ「アルコール」ヲ同一製造所ニ於キマシテ必ズ製造シタイト云フ希望ガ起ルノデアリマス、從ヒマシテ之ヲ同一ノ官廳ニ於テ同一ニ扱フト云フコトガ、製造者ニモ便利デアリマスシ、又官廳ニ於テモ便利ト思フノデアリマス、又此ノ含水ノ「アルコール」ガ澤山内地ニ於テ造ラレルト云フコトハ、是ハ又燃料政策カラ見マシテ極メテ必要ナコトデアリマス、是ガ澤山生産サレテ居リマスレバ、無水ニスルト云ヒマス場合ニ一ツノ蒸餾塔ヲ加ヘレバ宜シイノデアリマスカラ含水ノモノガ矢張り基本ヲ成スノデアリマスカラ、燃料政策カラ見テモ是ハ矢張り同一ニ扱フ方ガ宜クハナイカ、唯衆議院デ問題ニナリマシタノハ、今日直チニ實用的ニ、燃料用ニ造ッテ居ナイノデアルカラ、之ヲ分離シタラドウカト云フ議論ガアッタノデアリマス、然ラバ臺灣カラコチラニ参リマスル「アルコール」ニ付キマシテノ、今後臺灣ノ製糖會社ニ於キマシテ多量ノ無水「アルコール」ヲ造ルノデアリマス、又工業用ノ「アルコール」モ造ルノデアリマスガ、政府トシテ臺灣ノ製糖會社ニ「アルコール」ノ製造ヲ註文ヲ致ス場合ニ於テ、含水ノ方

幾ラ、無水ノ分幾ラト致シマシテ會社ニ注文ヲ割當テマスレバ、其ノ扱ヒガ非常ニ便利デアリマス、ソレモ内地ニ於キマシテ臺灣カラ燃料用ノ「アルコール」ノ供給ヲ受ケマス上ニ於テ非常ニ都合ガ宜シイト考ヘテ居ルノデアリマス、マア我々トシテハ兩者ハ分離致サス方ガ適當ダラウ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、又モウ一ツハ徵稅ノ關係カラ見マシテ、臺灣デハ九十四五度ノ「アルコール」ヲ移入致シテ居リマスガ、今日ハ臺灣總督府ニ於テ此ノ税金ヲ徵收シテ居ルノデアリマス、戻稅等モ向フデヤッテ居ルノデアリマスガ、是ハ「アルコール」ハ内地ニ於テ消費セラレルノデアリマスルカラ、其ノ税金ハ矢張り内地ノ收入ニ致スト云フコトニ致ス方ガ適當ト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ之ヲ臺灣カラ無稅ノモノヲ個人ガ勝手ニ持ッテ來ルト云フコトニナリマシテ、内地デ一々課稅ヲスルト云フコトハ取締上ナカ／＼困難デアリマスシ、又今日ノ稅法カラ見マシテモ制度上ムツカシイ點ガアリマスノデ、一手ニ政府ガ之ヲ買ヒマシテ、サウシテ之ヲ現在販賣致シテ居ル者ニ賣渡スト云フコトニ致シマシテ、其ノ間ニ税金ノ掛ルモノハ其ノ税金ダケ益金ヲ加算スル、又税金ヲ課スベカ

ラザルモノニ付キマシテハ交付金ノ制度モ設ケル、而シテ其ノ手續ハ内地ニ於テ出來マスカラ手續モ簡單ニナルカト考ヘテ居ルノデアリマス、販賣業者等ノ利益ヲ侵害スルト云フコトモ問題ニナッタノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテモ出來ルダケ從來ノ既得權ハ尊重シテ出來ルダケノコトハ致シタイト云フコトノ説明ヲ致シマシテ、衆議院ノ方ノ諒解モ得タ譯デアリマス

○男爵北島貴孝君 安定劑ハ内地デ製造サル、將來見込ミガアルノデアリマスカル、

○政府委員(荒井誠一郎君) 是ハ其ノ石炭液化ノ事業ガ成功致シマスレバ之ニ伴ウテ當然ニ造リ得ルモノデアリマシテ、其ノ生産費モ人造石油ヨリモ幾分安く出來ルダラウト云フ燃料研究所デノ御見込デアリマス

○眞野文二君 チョット伺ヒタイノデスガ、此ノ臺灣カラ來マスノハ砂糖ヲ採リマシタアトノ糖蜜カラ採ッタモノガ參ルノデスガ、モウ臺灣デ砂糖ヲ採ラナイデ甘蔗カラ直接ニ採レルト云フ方法モアルサウデスガ、サウスルト大變容易ク又廉價ニ出來ルヤウナコトヲ聞イテ居リマスガサウデアリマスカル

○政府委員(荒井誠一郎君) 是ハ甘蔗カラ直接ニ採ルト云フコトモ將來増産ヲ致ス場合ニ計畫致シテ居ルノデアリマスガ、是ハ

其ノ砂糖ニスル方ガ利益デアルノカ、或ハ「アルコール」トシテ賣ル方ガ利益デアルカト云フコトニ依ッテ會社ノ計算ハ決マルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、砂糖ノ値段ガ高ウゴザイマス、ソチラノ方ニ向ケマシテ相當餘計造ルト云フコトニナルノデアリマスガ、今後臺灣ニ於キマシテハ此ノ砂糖ノ値段如何ニ拘ラズ、是ハ國策ニ順應スル上カラ致シマシテ、ドウシテモ「アルコール」ノ増産計畫ヲ立テナケレバイカス、而カモ六十萬石ノ「アルコール」ヲ造ルト云フコトニナリマスルト、耕地ノ擴張ト云フコトモ致サヌケレバナラスヤウデアリマス、其ノ時ニ此ノ甘蔗ガ幾ラノ生産費デ供給サレマス、ソレニ依ッテ違フト思フノデアリマス、唯糖蜜ニ付キマシテハ此ノ糖蜜ノ價格ヲ全ク此ノ副産物トシマシテ殆ド價値ノナイモノト見マスルト大變安く出來マスガ、是ハ今日ノ煉炭用ナリ、或ハ朝鮮ノ燒酎用ナリニ使ヒマシテ、相當ノ價格ガ出ルト云フコトニナリマスルト、糖蜜カラ造ッタ「アルコール」ガ高クナルト云フ計算ニナルヤウニ考ヘテ居リマスガ、尙技術上ノコトデアリマスレバ技術官カラ御説明致シマス

○眞野文二君 只今ノハ代價ノ御話デアッテ無論會社トシテハ砂糖ノ方ガ儲カルカラ

シテ砂糖ヲ造ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、併シ國策上甘蔗カラ採ル方が容易クアル、出來タ所ノ「アルコール」モ安イト云フコトデアレバソレヲシタラドウカト云フ考ガアルノデアリマス、例ヘバ南洋デ甘蔗ヲ作ルト云フヤウナ御考ハナイノデアリマセウカ、直接ニ甘蔗カラ採ル方が容易クアリ、且安イ「アルコール」ガ出來ルト云フコトデアレバ國策上其ノ方が宜イデハナйкаト云フ考ガアリマスガ、ソレハドウ云フヤウナモノデアリマセウカ

○説明員(黒野勘六君) 甘蔗カラ直接ニ「アルコール」ヲ採ル生産費ニ付キマシテハ臺灣糖業聯盟デ詳シク調査シタ書類ガアルヤウデアリマスガ、矢張り相當ニ其ノ甘蔗ノ價格ヲ現在ノ價格ヨリ非常ニ安く見ナイト「アルコール」ガ、燃料「アルコール」トシテ安イモノガ得ラレナイト云フ結論ニナッテ居リマス、耕地ヲ殖ヤシタイノデスケレドモ、現在臺灣ノ農民ガ米ヲ作ッテ其ノ米ヲ作ッタ方が甘蔗ヲ作ルヨリハ遙カニ農民ノ利益ガアルノデアリマス、之ヲ強制的ニ政府ガ何カ賠償デモヤッテ甘蔗ニ代ラセヌ限リ甘蔗ヲ作ルヨリ遙カニ農民ノ收入ガ多イカラ容易ニ轉換出來ナイト云フ風デアリマシテ、ソレヲ米ト同ジヤウニヤッタラ逆

モ矢張り高クナリマスルノデ、マダ臺灣デハ黍モ使フ、芋モ使フ、臺灣デハ切干芋ガ大分出來マスカラ芋モ使フ糖蜜モ使フト云フヤウニイロンナモノヲ使ッテヤッタ方が宜イト云フ風ニ現在能ク聞クノデアリマス、若シ其ノ甘蔗カラ酒精ヲ造リマス場合ノ數字上ノコトガ御必要デゴザイマシタラ糖業聯盟ノ調査書ヲ持ッテ居リマスカラ後日御上デ致シマス

○眞野文二君 尙南洋ニ於テ作ルト云フヤウナ御考ハナイノデアリマセウカ、チヨット序ニ……

○説明員(黒野勘六君) 私ノ今迄聞イテ居ル所デハ南洋ニ作ルト云フコトハマダ聞キ及ンデ居リマセヌ、若シ或ハ拓務省ノ方デサウ云フヤウナ計畫ガアルカモ知レマセヌガ、臺灣ノコトナドハ多ク調査會ノ時ナンカ拓務省ノ方デ御調査ニナッテ居ルヤウデアリマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 南洋ノコトニ付キマシテハ私カラモ申添ヘテ置キマシガ、今工業用ノ「アルコール」ガ或程度迄コチラヘ參ッテ居リマス、尙南洋廳ニ於キマシテ今後「アルコール」ノ増産計畫ガ出來ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ能ク協議ヲ致シマシテ、若シ有利ニ出來マスレバ南

洋廳カラモ供給ヲ仰ギタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○委員長(子爵梅小路定行君) 如何デゴザイマスカ、御質問ガアレバ今ノ内ニドウカ……

○柴田善三郎君 昨日來皆サン殊ニ土岐子爵ノ周到ナル御質問、之ニ對スル政府ノ懇切ナ御説明デ大イニ啓發サレマシタガ、中間的ニ私カラ法制ヲ基礎ニシテ一二ノ點ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス、第一、此ノ法案ノ名前ニ付テ伺ヒタイ、「アルコール」專賣法案ト云フコトニナッテ居リマスルガ、「アル

ルコール」ニ付テハ現ニ酒精ト云フ文字ガアルシ、殊ニ政府ニ於テハ酒精專賣法案トシテ提出サレル積リデアツカノヤウニモ聞イテ居リマス、仄カニ承ルト、資源局アタリニ於キマシテ斯ウ云フモノニ對スル用語ノ統一ト云フヤウナ關係カラ、今回ハ特ニ「アルコール」ト云フ文字ヲ用ヒタト云フ風ニ承ッテ居リマスルケレドモ、大體既ニ法律用語トシテ他ノ法令ガ總テ酒精、總テカドウカハ存ジマセヌガ、酒精ト云フ文字ヲ用ヒテ居リマスル以上ハ、此ノ法律ニ限ッテ「アルコール」ト云フヤウナ文字ヲ用ヒラレル必要ガアルカドウカト云フ點ニ一ツ疑問ガ起ルノデアリマス、或ハ必要ナラバ酒精

ト云フ文字ヲ書イテ讀ムニハ「アルコール」ト云ハセルノモノツノ方法デハナイカト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ邊ニ對シテハ相當御考アッテノコトト存ジマスガ、御説明ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 只今御話ノ通リ從來ノ稅法等ニ於キマシテハ、酒精ト云フ文字ヲ使ッテ居ルノデアリマシテ、酒精及酒精含有飲料稅法ト云フ法律モアリマス、其ノ外大藏省關係ニ於キマシテハ、先ヅ酒精ト云フ文字ヲ使ッテ居ルノデアリマス、最近只今御述べノ通り資源局ニ於キマシテ、専門的用語ヲ統一スルト云フ目的デ各省ノ者ガ集マリマシテ、會議ヲ開キマシテ、ソレニ依ッテ標準ノ言葉ガ出來テ居ルノデアリマス、ソレニハ從來ノ酒精ト云フ文字ヲ使ッテ居ル分ニ付テハ、機會ガアレバ之ヲ直シテ「アルコール」ト云フ文字ニ致スト云フコトニ申合セガ出來テ居ルノデアリマス、法制局ニ於キマシテモ、其ノ申合セニ從ッタ方が宜シイト云フ意見デアリマシテ、我々ト致シマシテハ、直チニ用語ヲ變ヘマシテ甚ダ申譯ナイノデアリマスガ、此ノ決定ニ從ッタ譯デアリマス

○柴田善三郎君 能ク分リマシタ、第二ニモウ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、第二條ニ、

本法ニ於テ「アルコール」ト謂フノハ、九十度以上ノモノヲ「アルコール」ト謂フト云フコトニナツテ居リマス、是ハ恐ラク何處ヘ境界ヲ定メルカ、何處カヘ境界ヲ定メナケレバナラヌノデアリマスガ、昨日來伺ヒマスルト、工業用ノ「アルコール」ト云フモノハ九十四五度ト云フコトニナツテ居リマス、云フコトデアリマスルシ、大體專賣ノ目的ト云フノハ、「ガソリン」工業竝ニ今日工業用ニ使用サレルモノガ、先程ノ實例ニ依ッテ示サレテ戴イタ如ク、近イ將來ニ於テハ或ハ工業ニ向ケラレルト云フヤウナ、所謂彼此融通性ノアルト云フ所カラ、工業用モ矢張り專賣ニサレルノデハナイカト思ヒマス、大體專賣ト云フモノニ依ッテハ、只今御説明モアリマシタ如ク、計算ニ依レバ八百萬圓、他ノ計算ニ依レバ一千數百萬圓ト云フヤウナ燃料國策ノ爲ニスル犠牲ト云フモノガアルノデアリマスカラ、此ノ見解カラ言フト、揮發油ヘノ混用、即チ燃料國策カラ出ルモノト云フモノ以外ニ於テハ、成ルベク專賣ノ範圍ヲ狭クスルト云フコトガ、政府トシテハ執ラレナケレバナラヌ途デアルト思ヒマス、ダカラ當然ノコトデアルト思フノデアリマスガ、併シ然ラバ其ノ境界ヲ何處ニ置クカ、斯ウ云フ問題デアリマス、私共素人

ダカラ只今マデノ説明デハ、九十度ガ適當ナノヤラ、或ハ九十四五度ノ所ニ置クノガ適當ヤラハッキリシタ意見ガナイノデアリマスガ、マア此處ニ境界ヲ御定メニナツテ理由ヲ一言ニシテ申セバ承リタイノデアリマス、又工業用ニハ用ヒラレナイガ、併シ實際九十度カラ九十四度ノ間ノモノト云フモノハ、相當量ニ生産サレル見込デアアルノカドウカ、斯ウ云フ點モ併セテ承リタイト思ヒマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 誠ニ御尤ナ御

疑念デアリマスルガ、九十度ニ致シマスルカ、或ハソレ以上ニ致シマスカタ云フコトハ、全ク見當ノ問題デアリマス、只今御述べノ通り、工業用ノ「アルコール」ト云フモノハ九十四五度ノモノデアリマシテ、普通ノ蒸餾ノ課程カラ申シマス、先ヅ出マスマノガ九十四五度ノモノデアリマス、唯九十四度ト極メテ置キマス、九十三度ノモノガ出ル場合ニドウスルカタ云フコトガ、稀有ノ、杞憂カモ知レマセスガ、起ッテ參ルノデアリマスガ、然ラバ九十三度ト云フコトデアリマスガ、先ヅ實害ガナケレバ切リノ良イ

九十度ト云フコトニスル、又從來九十度以上ノ「アルコール」ヲ大體高度「アルコール」ト致シマシテ、一樣ニ取扱ッテ居ル慣例モアリ

マスノデ、臺灣ノ酒精令ト記憶シマスガ、是モ矢張り九十度以上ノモノヲ「アルコール」トシテ取扱ッテ居ルノデアリマス、法制ノ統一ノ關係モアリマス、然ラバ九十度カラ九十三度ノモノヲ今日使用シテ居ルカト申シマスルト、是ハ殆ドナイノデアリマシテ、工業用ト申シマス、九十四五度ト云フコトニナリマスノデ、他ニ利害關係ハ今日ノ所ハ殆ドナイノデゴザイマス、ソレカラ飲料用ノ「アルコール」ト申シマス、先ヅ燒酎等ニナルノデアリマスガ、是ハ三十度カラ四十二三度ノモノデアリマシテ、其ノ間ニ格段ノ開キガアルノデアリマス、其ノ間ニ存在シマスモノハ極ク僅カノ數量デアリマスノデ、九十度ト致シマシテモ、他ニ迷惑ヲ及スト云フコトハナイト考ヘマシテ、左様取決メテ次第デアリマス

○柴田善三郎君 大體分リマシタ、尙一ツ

伺ヒマスルガ、私「アルコール」ノ用途モ能ク知ラナイガ、何デモ工業用ト云フ以外ニハ或ハ藥用ナリ、或ハ其ノ他此ノ中間ノモノデモ使用ニ適スルト云フヤウナモノハナイノデスカ

○政府委員(荒井誠一郎君) 是ハ使用ノ方

法ニ依リマシテ、稀釋「アルコール」ト云フノデ、薄メテ使フモノモアリマスガ、ソレ

ヲ供給シマス時ニハ、大體九十四、五度ノ物ヲ供給シマシテ、ソレヲ薄メテ使フト云フコトニナツテ居ルヤウデゴザイマス、是ハ薄メルコトハ自由デアリマシテ、是ハ賣捌イタ後ノ關係ニナツテ居ルヤウデゴザイマス

○柴田善三郎君 只今御話ニ依ルト、建前

ノ上ダケノコトデアッテ、實際ニハ、餘リ九十度以上九十三度ト云ツタ物ハ出ナイヤウナ御話ニ承リマシタガ、ソレデ宜シウゴザイマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 御述べノ通り

デゴザイマス

○柴田善三郎君 大體專賣、殊ニ販賣ニ付

テモ製造ニ付テモ、政府ガ原則トシテ行ハレルト云フコトハ私共モ賛成致スモノデアリマスルガ、唯、今迄衆議院ノ委員會ナリノ御説明ニ頂戴致シマシタ印刷物ト云フモノヲ拜見致シマシテモ、專賣ノ理由、殊ニ製造ヲ政府自ラガヤラナケレバナラヌカタ云フ、何故ヤラナケレバナラヌカタ云フコトニ付テハ、關係者ガソレノ別ナ御立場ニアル故デアリマスルカ、御説明ガ十分ニ統一サレテ居ラナイヤウニ私共ハ拜聴シ、或ハ拜讀シテ居ルノデアリマス、是ハ矢張り能ク色々御意見ヲ承ッテ、マア斯ウダラウト云フヤウナ氣持デ我々ガ賛成致スヨリ

モ、御相談下スツテ、何故ニ政府トシテハ販賣ノミナラズ、製造ニ至ル迄、之ヲ專賣ニスルカト云フコトヲ、モウ少シ説明スル方ニ依ツテ區々ニ互ラヌヤウニ御統一サレ必
要ガアルノデヤナイカト存ジマス、私今此處デ説明ヲ承ツテモ宜シウゴザイマスルシ、或ハ委員長ニ御願ヒ致シマシテ、委員長サシカラ何カソナ取計ラヒヲ御願ヒ致シマシテモ……

○委員長(子爵梅小路定行君) 諸君、サウ云フコトヲ御希望ナラバ、今一應詳シク政府カラ承ルコトニシタラドウカト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ、此ノ間中、御話ガアリマシタケレドモ、徹底シナイヤウナ所ナキニシモ非ズデスカラ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵梅小路定行君) 一ツ願ヒマセウ……

○柴田善三郎君 更ニ第三條ニ付テ伺ヒタイ「政府ハ本法施行前一年間引續キ業トシテ「アルコール」ヲ製造シタル者ニ對シ本法施行ノ際ニ限り其ノ製造ヲ特許スルコトヲ得」大體專賣ニナリマスル以上ハ、從來ノ製造業者ニ過渡的ニハ許スケレドモ、サモナケレバ許サヌ氣持ニナラレル、是ハ當然ダト思ヒマス、大體私其ノ點ニ付テ意見ガ

アル譯デハナイノデアリマスガ、然モ私ノ意見ハ想像的ノモノデアリマスガ、唯「アルコール」ノ製造ト云フコトノミニ從事シヨウト云フ業者ニ付テハ、之ヲ結構ダト存ジマスケレドモ、併シ一方ニ我ガ國ニ於キマスル重要産業デアツテ、而シテ其ノ事業ニ附帶シテ「アルコール」ヲ製造スルト云フヤウナモノガアリマスナラバ、サウ云フモノニ對シテ、此ノ第三條ニ依ツテ嚴然トシテ臨ムト云フコトハドンナモノダラカト云フ疑問ガ起ルノデアリマス、私サウ云フ疑問ヲ懷イタ時ニハ、甚ダボンヤリシタ話ダガ、糖蜜カラ「アルコール」ガ出來ルト云フコトモ知ラナカッタノデアリマスガ、段々承リマスト、臺灣ノ製糖會社ガ主トシテ工業用ノ「アルコール」ヲ供給シテ居ルト云フヤウナ現狀カラ見マスト、將來糖業ノ發達ト云フモノハ當然起ツテ來ルコトト存ジマスガ、サウ云フモノガ、此ノ規定アルガ爲ニ製造ノ特許ガ得ラレスト云フコトニナルト、現ニアルモノト、將來起ルモノト間ニ非常ナ「ハండిキヤップ」ガ付クト云フヤウナコトニ至ルノデハナイカ、ソレニ對シテハ、別ナ條文ヲ拜見致シマス、特許ハシナイガ、併シ何カ政府ガ委託ヲスル途ガ開ケテ居ルヤウデアリマス、デサウ云フモノニ對シテ

製造委託ヲスレバ宜イト云フコトニナルノデヤナイカト思ヒマスガ、大體假定的ノモノデアリマスガ、私ハ事業ノモノナドニ付テハ嚴格ニ之ヲ厲行ニナツテ宜イト思フガ、併シ一方燃料國策カラデハナイケレドモ、國產ノ振興ニ付テ重要ナモノガ、ソレニ附帶シテ「アルコール」ヲ製造スルト云フヤウナ事業ガ營マレマスナラバ、矢張りサウ云フ場合ニハ是非此ノ條文ハ適用シナクテモ、少クトモ委託ト云フコトヲシテヤル必要ガアリハシナイカト云フヤウニ考ヘマスガ、其ノ邊ニ對スル御意見ハ如何ナモノデアリマスカ、而シテ特許ト云フコトト、委託ト云フコトカラドンナ違ヒガ出テ來ルカ、總テ假定的ノ問題デアリマスガ、此ノ際承リタイト思ヒマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 第三條ニ於キマシテ「本法施行前一年間引續キ業トシテアルコールヲ製造シタル者ニ對シ本法施行ノ際ニ限り其ノ製造ヲ特許スルコトヲ得」ト申シマスノハ、只今御質問ガアリマシタ通り、是ハ今マデノ製造業者ノ權利ヲ出來ルダケ尊重スル、今日之ヲ相當多量ニ造ツテ居リマスモノハ一二箇所デアリマスガ、其ノ外ニ於キマシテ、燒酎業者等ニ於キマシテモ、幾分工業用ノ「アルコール」ヲ造ツテ

居ルモノガアリマス、併シ是ハ數量ニ於キマシテモ、任意ノ數量デアリマシテ、先ヅ需要ガアレバ造ル、ナケレバ造ラナイ、價格ガ高ケレバ造ル、安ケレバ造ラナイ、斯ウ云フモノガ多イノデアリマス、之ニ對シマシテハ一定ノ數量ヲ今後造リナサイト云フコトニシテ約束スルコトモ出來マセヌノデ、今マデ通り、今マデハ免許ト申シマシテヤツテ居ルノデアリマスガ、是ハ製造ヲ特許スルト云フコトニ致シマシテ、其ノ權利ヲ認メルト云フコトニ致シタラ、ドウデアラウカト云フコトカラ三條ガ出來クノデアリマス、モウ一ツハ第三十二條デアリマシテ、政府ハ「アルコール」製造ノ委託ヲ爲スコトヲ得ルト、斯ウ云フ規定ガアルノデアリマスガ、是ハ今日造ツテ居リマセヌ者デモ、造ツテ居リマス者デモ、將來之ニ對シテ委託製造ヲサセルト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、然ラバ特許トドウ云フ違ヒガアルカト、斯ウ申シマス、是ハ實質ニ於キマシテハ餘リ大キナ差違ハナカラウカト思フノデアリマス、唯專賣ノ建前ト致シマシテ製造ヲ政府ニ專屬スルト云フコトデアリマスルカラ、其一部ヲ他ニ委託製造ヲサセルト云フコトデ行ツタ方ガ、今後ノモノニ付キマシテ廣ク民間ノ製造ヲ認メマスニ於

キマシテハ、形ノ上カラ適當デアラウカト云フコトカラ、此ノ條文ヲ置イタノデアリマス、他ノ藥品ヲ製造スルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、アルコールヲ自分デ生産スル方ガ工業上非常ニ宜シイト云フコトノ場合ニハ、勿論其ノ必要ナル數量ダケヲ委託製造ト云フ形デ造ッテ貰フコトニ致シテ居リマス、出來ルダケ新規ノ工業ハ妨ガナイヤウニ致シタイト思フノデアリマス、又是ハ一度申上ダカト思フノデアリマスガ、東北振興株式會社ノ如キハマア政府ノ委託ヲ受ケテ、一ツ馬鈴薯ヲ原料トシテ茲ニ「アルコール」製造事業ヲ起シタイ、斯ウ云フ希望ガアリマスガ、是モ委託製造ヲスルト云フコトニ致シタイト思フノデアリマス、只今ノ御注意ノ點ニ付キマシテハ十分ニ心掛ケマシテ、御趣旨ニ副フヤウニ致シタイト思フノデアリマス、尙此ノ專賣制度ノ問題ニ付テ各省ノ説明ガ多少區々ニナッテ居ル、徹底シナイデヤナイカ、モウ一應相談シタ上デ、或ハモウ少シ徹底的ニ説明スル方ガ宜クナイカ、斯ウ云フコトデアリマシタガ、或ハ一應私カラ申述べマシテ、尙不足デアリマスレバ更ニ協議致シマシテ申述べタイト思ヒマス、此ノ「アルコール」ヲ燃料用トシマシテ多量ニ生産スル場合ニ、色々ノ計畫ガアッ

タノデアリマス、是ハ一方ニ於キマシテハ政府、民間共同出資ニスルカ、或ハ配當デモ保證ヲ致シマシテ、ソコデ半官半民ノ會社ヲ作ッテ、大規模ニ「アルコール」ノ製造ヲ致シタラヨクナイカ、斯ウ云フ計畫モアツタノデアリマス、又一方ニ於キマシテハ農村對策ノ關係カラ、是ハ産業組合等ニ製造ヲサセマシテ、更ニ政府ハ再蒸餾ノ仕事ダケヲヤルト云フコトニ致スト云フ計畫ガアツタノデアリマス、是ハ主トシテ原料關係ニ重キヲ置クノデアリマシテ、農村ニ於テ原料ヲ生産スル、殊ニ今後農村ニ於テ非常ナ努力ヲシテ、甘藷、馬鈴薯ヲ生産サセル、其ノ場合ニ於キマシテハ、矢張り「アルコール」ノ製造マデラ、是ハ農村工業トシテ行ツタ方ガ適當デハナカラウカ、斯ウ云フ見地カラ出發サレテ居ルノデアリマス、是モ非常ニ御尤ノコトト思ヒマス、併シサウ致シマスルト生産費ガ高ク付クノデアリマシテ、出來レバ始メカラズツ、詰リ鐵デ申セバ鉄鋼一貫作業ト申シマスルカ、サウ云フ建前カラ行ツタ方ガ、燃料ガ非常ニ經濟ニナルト云フコトデ、産業組合ニヤラセルコトハ取締上カラモ、亦經濟上カラモ困難デアラウト云フコトニナツタノデアリマス、又之ヲ企業的ニヤリマスル場合ニ、農家カラ

或一定ノ價格ヲ以テ馬鈴薯ナリ甘藷ヲ買フト云フ時ニ、是ハ氣分ノ問題ト申シテモ宜シイカト思フノデアリマスガ、相當ニ配當ヲ保證サレタ會社ニ賣ルノデアレバ是ハ燃料國策ニ順應スルト云フコトガ、原料ノ生産者ダケニサウ云フ氣分ヲ起サセルノデハナイカト云フ考モ一方デ持ッテ居ル方モアツタノデアリマス、勿論是ハ左様ナコトハナイト云フコトモ考ヘラレルノデアリマスガ、何トナク氣分ガソコニ落著カナイト云フコトガアリマシテ、然ラバ出來ルダケ產地ニ近ク、原料ノ生産者ガ自分ノ矢張り工場トシテ考ヘ得ル工場ヲ其處ニ作ツタラ宜イデヤナイカ、是ニハ政府ガ或點マデ自分デ工場ヲ持チマシテ、其ノ產地ニ出來ルダケ近ク工場ヲ置イテ、其ノ土地ノ工場トシテ考ヘテ貰ヘバ、其ノ點ハ生産者ニ對シマシテモ、非常ニ氣持好ク甘藷、馬鈴薯ノ増産ヲ頼ムコトガ出來ハセヌダラウカト云フコトカラ致シマシテ、先ヅ是ハ產地ニ依ッテ違ヒマスルガ、中規模ノ工場、經濟的ニモ或程度マデ引合ヒマシテ、而モ全ク企業本位デアルト云フコトニ考ヘラレナイ程度ノモノヲ作ルコトガ適當デハナカラウカト云フ考モ、大分強クナリマシテ、先ヅ出來ルダケ產地ニ近ク政府ノ工場ヲ分布サセルト云フ

コトガ適當デハナカラウカ、而シテ工場網ガ出來マスレバ其ノ間ニ於テ產地關係カラ見テ差支ナイモノニ付キマシテハ、民間ニ於テモ其ノ企業ヲ委託スルト云フコトノ建前ガ宜クナイカト云フコトニ段々相成ッテ參ツタノデアリマス、從ヒマシテ兩方面ノ中間ニアルコトデアリマスカラ、或ハ徹底シナイト云フ御議論ガ茲ニ起ルコトモ御尤ト思フノデアリマスガ、左様ノ趣旨カラ製造ノ專賣ト云フコトモ茲ニ起ッテ參ツタノデアリマス、併シ主義ニ差支ナイ限りハ、出來ルダケ民間ニ於テ造ッテ貰フト云フコトガ、此ノ製造ヲ早く完成スルト云フ上カラ見テ適當デハナイカト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、販賣ノ方ニ付キマシテハ、是ハドウ致シマシテモ、販賣專賣ト云フコトヲ實行ヲスルコトガ必要ト思フノデアリマシテ、民間ノ工場カラ買ヒマシテモ民間ノ工場デ「アルコール」ガ盛ニ出來マシテモ、各、生産費ガ違フカト思フノデアリマス、又強制混用ヲサセマスルニハ、一定ノ價格デ安く賣ッテヤラナケレバйкаスト云フ關係ガアリマスルノデ、政府デ一手ニ之ヲ買上ゲマシテ、サウシテ之ヲ原價ヲ切ッテモ、或價格デ賣渡スト云フコトガ必要ニナッテ參ルノデアリマス、唯全ク一ツノ

會社デ之ヲ造リマシテ、サウシテ「ガソリン」ノ製造者ナリ或ハ輸入業者ニ賣ルト云フコトニナリマスレバ、ソレハ其ノ會社ニ損ヲサセマシテ、サウシテ補助金ヲ澤山與ヘルト云フコトデモ解決ハ付クカト思フノデアリマス、朝鮮ニ於キマシテハ是ハ朝鮮東拓ガ主ニナリマシテ其ノ關係會社ガ出來マシテ「シヨウラー」法ニ依リマシテ「アルコール」ヲ造ルノデアリマスガ、是ハ一ツノ會社デ造ルノデアリマスカラ先ヅ其ノ會社ニ命令ヲシマシテ配給モサセ、價格モ調節スルト云フコトデ宜クハナイカト斯ウ今ノ所ハ考ヘテ居ラレルヤウデアリマスガ、併シ他ニモ「アルコール」ノ製造ヲ開始スルト云フ計畫ガアリマスノデ、將來ハサウスレバ專賣ニ致サナケレバナラスト云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、臺灣ニ於キマシテハ今日ハ「アルコール」ハ島内消費ノ分ハ全部專賣ニナッテ居リマス、是ハ買上ガ專賣デアリマシテ、政府ガ一部製造シテ居ルノデアリマス、唯内地ニ移出致シマス分ニ付キマシテハ、是ハ專賣外ニナッテ居ルノデアリマス、今後ニ於キマシテ燃料用「アルコール」ニ付キマシテハ販賣ノ專賣デアリマスガ、マダソレデハ不便デ製造專賣マデ島内消費ノ分ハサウシナケレバナラストデハ

ナイカト云フ制度ノ改善ノコトモ考ヘテ居ラレルヤウデアリマス、段々各地トモ同一ノ方向ニ向ッテ居ルノデアリマスガ、其ノ間ニ直チニ一致シマセヌ事情ガアリマスノデ色々御疑念ガアルヤウデアリマシテ、尙不足ノ點ガアリマスレバ尙篤ト考ヘマシテ御説明致シタイト考ヘテ居リマス

○柴田善三郎君

私ハ今ノ御話ハ能ク解リ

マシタ、願ハクバ長官ノ所デ今マデ方々デ御話ニナッテ居ルコトガアリマスカラソレヲ御吟味下スツデ、サウシテ項目トシテモ是ハ絶對ノモノデハナイノデアリマスカラ、色々ノ事項ヲ舉ゲテサウスレバ大局カラ必要ダト云フ斯ウ云フ感ヲ懷クヤウニナルノダラウト思ヒマス、之ヲ一々取上ゲテドウコウ申ス趣旨デハナイノデアリマス、ドウカ其ノ御含ミノ上デ御考ヲ願ヒマス、モウ一ツ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、私ハ今度ノ政府ノ御計畫ハ大體非常ニ結構ダト思ッテ居ルノデアリマス、唯農村ノ者ハ、正直ダケレドモ、田舎ノ者ハナカ／＼慾ノ深イモノデアリマス、兎ニ角今專賣局ノヤッテ居ラレル事業デ例ヘバ煙草ト云フモノノ如キハ農村ガ非常ニ疲弊シテ居ルトカ何トカ云ッテ居ル中ニ煙草ヲ作ラセテ居ッテ戴クト云フノデアルカラ非常ニ恩惠ダ、サウ云フ所カラ

今度政府ガ「アルコール」ヲヤルサウダ、サウスルト丁度煙草ニ依ッテ非常ニ恩惠ヲ受ケテ居ルガ如ク、我々ガ芋ニ依ッテ非常ニ恩惠ヲ受ケルダラウト云フコトヲ或ハ考ヘヤシナイカト思フノデアリマス、所デ今度ノ事業ハ損ヲシテマデ國策ノ爲ニヤルト云フ事情ガアルノデアリマシテ、現ニ話ヲ承ッテ見テモ現在トシテハ先ヅ一貫目ヲ七錢ト評價スルガ、先ニナルト六錢ト云フ位ニ御考ヘニナッテ居ル、是ハ御尤ダト思フ、ソレデアリマスカラ斯ウ云フ仕事ハ圓滑ニ進メル上ニ於テハ能ク其ノ邊ハ御實施ニ對シ徹底サレテヤラレル必要ガアル、是ハ質問ト申シマセウカ、唯御參考マデニ申上ゲテ置キマス、其ノ邊ハドンナ風ニ御考ニナッテ居リマセウカ、ソレカラシテモウ一ツ例ヘバ丁度同ジ地方デ煙草ノ栽培ヲオヤリニナッテ居ル、煙草ノ後ニ何ヲ作付ケラスルガ宜イカト云フコトハ一ツノ重大ナ問題ダト思ヒマス、煙草ニ依ッテ非常ナ收入ヲ得テ居ルノダカラ、煙草ノ後ヘノ作物ト云フモノハ兎角農民ガ閑却シ易イ、殊ニ近來ノヤウニ例ヘバ地方ノ特殊ノ煙草、例ヘバ遠州地方ナラバ遠州葉ガ米葉ニ換ッタカラ收穫ガ早クナル、ダカラ芋ナドモ獎勵サレルト云フコトニナレバ是ハ最モ適當デヤナイカト

思フノデアリマス、是ハ一ツノ地方ノ例ニ付テ申上ゲルニ止ッテ居ルコトデアリマスルガ、丁度一ツ手デ煙草ト芋ヲヤラレル場合ニ於テハ、御獎勵ノ效果ガ餘程適切ニ有效ニ響キハシナイカト思ヒマス、之ヲ切口上デ申上ゲマスレバ、ソナ邊ニ付テドウ御考ヘニナルカ、ソコマデハ申上ゲマセヌガ、若シ御意見ガアレバ承リマスガ、御參考マデニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、更ニ原料ノ問題デスガ、昨日來承リマス、主トシテ甘藷ト云フコトデアリ、東北、北海道等ノ爲ニ馬鈴薯ニ付テモ相當御考ヘニナラレル、是ハ私農村ノ關係カラ言フテ極メテ結構ナコトデアルト思ヒマス、先程南洋ノ甘蔗等ニ付テ御話ガアリマシタガ、大體此ノ專賣法ガソレ自身ニ於テ非常ナ國策デアリマスルケレドモ、偶、之ヲ農村ノ今日ノ衰ヘテ居ル、狀態、ソレニ依ッテ特ニ國家ノ施設ヲ要スルト云フヤウナ時期ニ於テ、斯ウ云フモノノ事業ノ副産物トシテ農村ノ振興ガ出來ルト云フナラバ所謂一石二鳥デ、私ハ原料ナドニ付テモ、是ハ學問的ニ餘リ斯ウ云フモノカラデモ出來ル、斯ウ云フモノカラデモ出來ルト云フヤウナコトハ深く御研究ニナル必要ハナイデヤナイカ、ソレハ木材デモ出來マセウガ、木材ヲ以テ行フト

云フコトハ自由な發達ニ委セレバ宜イ、燃料問題ヲ解決スルニハ燃料ヲ以テスルト云フヤウナコトニナルノデヤナイカ、諸、馬鈴薯、サウシテ地方ノ狀況ニ限ッテハ唐黍ト云フヤウナモノニ付テハ御研究位ハ必要デヤナイカ、政府ガ色々御尋ニ對シテドレモ是モト云ッテ餘リ例ヲ擧ゲテ、而シテソレガ現實トナッテ甚ダ不徹底ナモノニナルト云フヤウナコトデハドンナモノカト思ヒマス、此ノ邊ニ對スル御考ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 先程御注意ノ原料問題ニ付キマシテ、農村ニ於キマシテハ非常ナ期待ヲ以テ大變高ク買ッテ貰ヘルノダト云フコトヲ考ヘテ居ル者モアルヤウデゴザイマスガ、其ノ點ハ能クコチラデ申シマシテ、是ハ斯ウ云フ趣旨カラ出來テ居ルノデアッテ、確實ナ換金作物ヲ得ラレバ宜シイノデアルト云フ程度ニ止メテ貰ヒタイト云フコトハ計畫ノ當初ニ於キマシテ十分ニ話ヲ致シテ置ク必要ガアルト思ヒマス、ソレニ努メテ居ル次第デアリマス、又煙草ノ裏作トシテ非常ニ是ガ有利ナ仕事デアリマスカラ、其ノ點モ御話ノ通り十分ニ考ヘタイト思ッテ居リマス、ソレカラ原料デゴザイマスガ、只今御示シノ通りニ、矢張り甘藷、

馬鈴薯ニ主力ヲ注ギタイト思フノデアリマス、農村振興ノ上カラ他ニ適當ナ作物ガアレバ是ニ及ブト斯ウ云フ御考デアリマスガ、實際問題ト致シマシテ今日甘藷、馬鈴薯ニ重キヲ置クト云フコトヨリ内地ニ於キマシテハ外ニ途ガナイト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵土岐章君 只今ノ問題ニ關聯シテ、先程農林省ノ農產課長カラ御答辯ノアッタコトハ私、或ハ聽キ間違ヒカモ知レマセヌガ、「アルコール」工業ノ原料ト云フモノハ全然食料ニスル原料ト別ニ考ヘテヤッテ行キタイト云フ御話ガアリマシタガ、此ノ點ニ付テハ只今柴田サンモ同ジヤウニ此ノ原料ト云フ問題ニ付テ御心配ニナッテ御質問ガアッタヤウニ思ヒマスガ、私モ先程希望トシテ申上ゲタノデスガ、矢張り全然之ヲ別ト云フコトデナク、融通性ヲ有ッテ原料ヲ置クト云フコトデナイト、價格モ自然ニ安クナルシ、先程柴田サンノ御心配ノヤウナ、煙草ガ今日農村ノ或特定ノモノニ非常ニ頼ラレテ煙草ヲ作ル、今日聽ク所ニ依ルト專賣局デハ此ノ買上ゲニ對シテモ可ナリ決メルニハ決メタケレドモ、買上ニ困ルヤウナ立場モアルヤニ聽イテ居リマス農林省トシテ先程ノ御答辯ガ若シサウ云フ風ニ私ハ聽イタトス

ルト、是ハ誤リデアリマスガ、モウ一遍原料ノ甘藷ト云フモノハ時ニ別ニスルト云フコトデアリマシタカ、或ハ融通性ヲ有ッテ、現在ヨリ以上ニ作ラセルト云フ御答辯デアリマシタカ、モウ一遍一ツ御伺ヒシタイ

○説明員(間部彰君) 先刻私ガ申上ゲマシタ「アルコール」製造原料ニ必要トスル甘藷、馬鈴薯モゴザイマスガ、假ニ甘藷ダケデ申シマスレバ、ソレハ從來ノ食糧及工業用ノ用途ニ用ヒラレテ居ル部分ヲ侵サナイデ、別ニ生産サセル積リダト云フコトヲ申上ゲタノデ、ソレハ詰リ唯原料ノ供給ガ出來タト云フダケデハ宜クナイノデアリマシテ、他ノ用途ヲ狭メテ、即チ他ヘノ供給ヲ少クシテ、コチラノ方ニ持ッテ來タノデハ他ノ用途ノ方面ノ、即チ需要者ガ困ル譯デアリマスカラサウ云フコトノナイヤウニ從來ノ用途ハ用途トシテ其ノ方ニ十分ナ供給ガ出來ル、コチラハコチラトシテ十分ニ供給ノ出來ルヤウニ生産ヲ進メテ行キタイト申上ゲタノデアリマシテ、併シ其ノ融通性ト云フ問題ニナリマス、結局芋ノ品種ノ問題ニナルカト思ヒマス、大體私共ノ考デハ「アルコール」原料用ノ甘藷トシテハ専ラソレノミニ用ヒラレテ、他ニ用ヒラレナイモノトハ申上ゲラレマセヌガ、マア大體ソレハ

食糧ニハ少クトモ餘リ好適シナイガ、「アルコール」ヲ製造スルニハ適スルト云フヤウナ品種ヲ此ノ方ノ用途ニハ供給サシタイト思ッテ居ルノデアリマス、併シサウハ申シマスモノノ結局ソレハ芋デアリマシテマサカノ場合ニ於キマシテ、例ヘバ「アルコール」製造用トシテ生産シタ物が餘ッテ、而シテ食糧ノ方ノ不足ヲ生ジタト云フ場合ニ、ソレガソチラニ振向ケ得ラレナイモノデハ實ハナイノデアリマス、デアリマスカラ萬一ノ場合ニ於キマシテハ多少味ノ不味イト云フヤウナコトヲ我慢致シマスレバ、「アルコール」用ノモノモ亦食用ニ向ケ得ルノデアリマスカラ、其ノ點ハ萬一ノ場合ニ於テハ左程差支ヘノアルモノデヤナイカト思ッテ居リマス

○柴田善三郎君 今度ハ十三條、四條、六條、其ノ關係ニ付テ一ツ伺ヒタイ、第十三條デ、造ッタモノハ總テ政府ニ收納スルノダト云フコトヲ決メテ居ルシ、ソレカラ十六條デ、從ッテ出來上ッタモノハ政府ニ納付シロト云フコトヲ規定シテ居リマス、所ガ十四條ニ行クト第二項ニ「收納ニ適セザル」アルコールニ付テハ政府ハ適當ナル處理ヲ爲スベキ旨ヲ命ズルコトヲ得、即チ政府ニ納付セシメズシテ、納付ト云ヒマスルカ、此

所デハ收納ト云フ言葉ガ適當カドウカ知リ
マセヌガ、兎ニ角政府ニ納付セズ、他ノ方
法ニ依ッテ處理スルト云フ規定ヲ設ケテ居
リマス、是ト第十六條ノ總テ之ヲ政府ニ納
付シロト云フ規定トハ是ハドンナ關係ニナ
ルモノデセウカ、勿論十四條ノ第二項ガ十
六條ニ對スル例外規定ダト云フ風ニ見ルベ
キダトモ思ヒマスルガ、普通ノ場合ナラバ斯
ウ云フ書キ方ハシナイ、「アルコール」製造
者ノ製造シタル「アルコール」ニシテ第十四
條第二項ニ當ラヌモノハ皆政府ヘ出セト、
斯ウ書クノガ當前ダト思ヒマスガ、特ニ茲
ニ「總テ之ヲ政府ニ納付スベシ」ト云フコ
トヲ書カレテアルノデアリマスカラ、是ハ
何カノ意味ガアッテ御ヤリニナッテ居ルモ
ト思ヒマス、チョット其ノ邊ノ方針ヲ承ッテ
置キタイト思ヒマス

○政府委員(荒井誠一郎君) ソレハ十三條

ト十六條トノ規定ハ多少重複シテ居ルヤウ
ナ感ガアルノデアリマスガ、唯此ノ規定ヲ
書キマス上ニ於キマシテ呼出シト申シマス
カ、技術上ノ問題カラ十六條ノ一項ヲ置イ
タト云フコトモアルノデアリマス、ソレハ
製造シタル「アルコール」ハ政府之ヲ收納ス
ト云フコトニナリマスレバ全部ハ政府ノ
手ニ納メルノデアリマスガ、ソレヲ裏カラ

申シマシテ「アルコール」製造業者ノ製造シ
タル「アルコール」ハ總テ之ヲ政府ニ納付ス
ベシ」ト立場ヲ換ヘテ之ヲ書イタノデアリマ
シテ、二項ニ「政府ハ納付ノ期日及場所ヲ定
ムルコトヲ得」斯ウ云フ規定ヲ書キマス上カ
ラ、多少文章ノ綾モアリマシテ斯ウ云フ風
ニナッタノデアリマス、只今ノ御疑問ノ十四條

ノ二項ニアリマス「收納ニ適セザル」アルコー
ルニ付テハ政府ハ適當ナル處理ヲ爲スベキ旨
ヲ命ズルコトヲ得、斯ウゴザイマスガ、是ハ
必シモ收納ヲシナイト云フコトデゴザイマ
セヌノデ、例ヘバ九十一度ノ薄イ「アルコー
ル」ヲ造リマシタ時ニ、政府ガ九十四五度ノモノ
ガ普通賣レルノデアリマスカラ九十四五度ノ
モノニ直シナサイ、斯ウ云フ適當ナル處理
ヲ命ジマシテ、其ノ上デ收納スルト云フコ
トモ起ッテ來ルノデアリマス、或ハ何カ混リ
物ガ多い時ニ、其ノ混リ物ヲ除ケテ純粹ナ
モノニシテ納メロト、斯ウ云フヤウナコト
ニモナルカト思フノデアリマシテ、矢張り
是ガ結局ハ收納サレル「アルコール」ニナル
ノデアリマスガ、中途ノ處理ト云フコトニ
ナルカト考ヘテ居リマス

○柴田善三郎君 能ク分リマシタ、其ノ次

ニ第十七條デスガ、第十七條ノ同一ノ製造
場内ニ於テ製造スル「アルコール」ニハ、前

カラ言ヒマス、酒造税法ニ依ッテ製造免許
ヲ受ケタモノハ、酒類ノ原料トシテ造ル「ア
ルコール」、是ニハ本法ヲ適用セズ、斯ウ
ナッテ居リマス、是ハ目的デ區別スルノダカ
ラ、マア例ヘバ九十度以上ノモノデアッテ
モ、此ノ法ヲ適用シナイト斯ウ云フコトニ
ナルノデアリマスガ

○政府委員(荒井誠一郎君) 第十七條ノ規

定ニ於キマシテ定メテ居リマスル所ハ、只
今御質問ノ通りデアリマシテ、例ヘバ「ボー
トワイン」ナドヲ造リマスルト云フヤウ
ナ場合ニ、「アルコール」ヲ原料ト致シマス
ガ、是ハ矢張り九十三、四度ノ「アルコー
ル」ガ出來ルノデアリマス、ソレヲ何カノ
「エッセンス」ニ混ぜマシテ、サウシテ酒ヲ
造ルノデアリマス、ソレハ税金ヲカケルト
云フコトニ致シマシテ、專賣ノ方ニハ入ッテ
來ナイト云フ意味デゴザイマス

○柴田善三郎君 分リマシタ、ソレカラ二

十一條ニ付テチヨット伺ヒマス、二十一條ニ
擔保ヲ提供セシムルト云フ規定ガアリマス、
是ハ大體御尤ダト思ヒマスルガ、併シ此ノ
擔保ヲ提供セシムル爲ニ、相當マア關係人
トシテハ、負擔ガ重イト云フヤウナ場合モ
アルノデヤナイカト思ヒマス、規定ノ上ニハ
提供セシムルコトヲ得、全部又ハ一部、ト

云フコトニナッテ居リマスカラ、擔保ヲ提供
セシムル場合モアリ、セシメザル場合モア
ル、其ノコトハ命令デ決メルト云フコトニ
ナッテ居リマスガ、實際斯ウ云フ場合ニ私共
一體田舎ノ狀況ナドガ分ッテ來ルト、實際執
行ノ官廳ニナルト、サウ云フ規定ガアルト
云フト、マア〱大事ヲ取ッテ置ケト云フコ
トカラ、人民ニ迷惑ニナルト云フコトヲ考
ヘルヨリモ、先ヅココデヤリ得ルモノハヤッ
テ置ケト云フヤウナ傾ニ、兎角ナリ易イト
思フノデアリマスガ、此ノ執行ニ付テハ、
命令ノ規定ニ依ッテ、二十一條ニハ提供セシ
ムルコトヲ得ト云フ規定デアリマスガ、ド
ウ云フ場合ニハ出ス、ドウ云フ場合ニハ必
要ガナイト云フコトヲ、出來ルダケハッキリ
サセル必要ガアルカト思ヒマスガ、ドンナ
モノデアリマスガ

○政府委員(荒井誠一郎君) 只今ノ二十一

條ノ規定ニ依リマシテ、是ハ主ニ工業用ノ
「アルコール」ヲ賣リマスル時ニ、直接ニ安
イ價格ヲ決メマスノデアリマスガ、其ノ場
合ニ直グニ其ノ「アルコール」ガ使ヘマスレ
バ、擔保ヲ徴シナイデ宜シイノデアリマス
ガ、期間ガ長クナルト云フコトニナリマス
ルト、ドウシテモ擔保ヲ取りマセスト、是
ガ原價ガ三十五六圓カラ四十圓位ナモノニ

致シマシテ、税金ガ幾ラカト申シマスト二百圓ヲ超ユルモノデアリマス、「アルコール」ト云フモノハ殆ド税金ノヤウナモノデアリマスルノデ、ナカ／＼其ノ點ガヤリニクイノデアリマス、併シ小サイ工業者ガ之ヲ使ヒマスル時ニ、サウ大キナ擔保ヲ出シマシテハ、仕事ハ出來ナイノデゴザイマス、從ヒマシテ之ヲ專賣ニシタ時ニ、ドウ云フコトニ致スカト申シマスルト、大體政府ガ買ヒマシタモノハ、或販賣會社ガアリマシテ、元賣捌人ガ出來マシテソレニ賣渡スノデアリマシテ、ソレカラ一應擔保ヲ提供サセマシテ、税金ノ方ハ延納ニナルノデアリマス、延納ニナリマシテ此ノ會社ガ中小工業者ニハ無擔保デ、詰リ中間デ責任ヲ負ッテ無擔保デ賣ルノデゴザイマス、サウシテ工業ニ使ヒマスレバ、税金ハ免除ニナルノデアリマスカラ、ソコデ據置擔保ノヤウナコトニ致シマシテ、出來ルダケ小サイ工業者ノ如キハ、直接關係ヲ起サヌ方ガ宜シクナ

イカ、今日モ大阪ニ於キマスル取扱業者ガ、總テ臺灣ノ製糖會社ニ擔保ヲ出シマシテ、サウシテソチラカラ延納ヲ受ケマシテ、サウシテ中小工業者ニハ擔保ヲ出來ルダケ取ラナイデヤッテ居ルノデアリマス、併シソレガサウ致シマスル爲ニ多少ノ危險料ヲ拂ハ

ナケレバナリマセヌノデ、幾ラカ「アルコール」ガ高クナルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、併シ高クナッテモ矢張り擔保ヲ出サヌデ賣ッテ貰ヒタイト云フ希望ガ多イノデアリマス、左様ナル形式モ使ヒマシテ、出來ルダケ迷惑ヲ掛ケヌヤウニ致シタイト考ヘテ居リマスノデゴザイマス

○柴田善三郎君 私ハ一應是デ打切りマス

○委員長(子爵梅小路定行君) 外ニ御質疑

ハゴザイマセヌカ、御質疑モナイト認メマシテ討論ニ入ルコトニ致シマス、質疑ノ節ハ此ノ二案ヲ合併致シマシタケレドモ、討論ニ入ッテカラハ便宜上二ツニ分ケテ、先ヅ專賣法案ノ方カラ先ニ致シマス、ドウゾ左様ニ……大藏大臣ノ御出ニナル迄速記ヲ止メテ置イテ下サイ

(速記中止)

○委員長(子爵梅小路定行君) 速記ヲ始メ

テ……大臣ガ見エマシタカラ始メマス

○男爵長基連君 チョット討論ニ御入リナリマス前ニ承リタイ點ガアルノデアリマ

スガ

○委員長(子爵梅小路定行君) チョット長君ニ申上ゲマスガ、實ハ先刻討論ニ入ルト云フコトヲ宣告致シタノデアリマスガ、御

質問ニ依ッテハ特ニ御許シ致シマス

○男爵長基連君 衆議院ノ修正ノ點ニ付テ

チョット伺ヒタウゴザイマス

○委員長(子爵梅小路定行君) 宜シウゴザ

イマス

○男爵長基連君 「アルコール」專賣法ニ付

キマシテ衆議院ノ修正ガゴザイマシタガ、

此ノ點ハ政府ハ同意デアルト云フ御話デア

リマスガ、此ノ三十二條ノ「政府ハアルコ

ール製造ノ委託ヲ爲スコトヲ得」ト云フ此

ノ點ニ付テ御修正ガ「前項ノ委託ヲ受ケン

トスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ガ申請

ヲ爲スベシ」、此ノ修正ニ付テ御同意ヲナサ

イマシタ其ノ理由ヲ伺ッテ置キタイ、ソレカ

ラ此ノ四十二條ノ修正ナンデアリマスガ、

ソレヲ讀ミマス、本法ニ依リ特許又ハ委

託ヲ受ケアルコトヲ製造スル者ニハ命令

ノ定ムル所ニ依リ特許又ハ委託ヲ受ケタル

年及其ノ翌年ヨリ五年間其ノ事業ニ付所得

税及營業收益税ヲ免除ス、前項ノ規定ハ特

許又ハ委託ヲ受ケタル者ガ其ノ製造場ヲ新

設シタル場合ニ付之ヲ準用ス、此ノ點ニ付

テモ御同意デアッタト云フコトデアリマシ

タガ、此ノ第二項ノ製造場ヲ新設シタル場

合ニ付テモ、矢張り所得税及ビ營業收益税

ヲ免除スルト云フコトデアリマスガ、其ノ

理由ガ私ニハ能ク了解ガ出來マセヌノデ、其ノ理由ヲ一ツ承リタイ、此ノ所得稅並ニ營業收益稅ヲ免除スルト云フコトニナリマス、國庫ノ收入ニ對シテドウ云フ關係ガ起リマスカ、其ノ點モ御説明ヲ願ヒタイト

思ヒマス

○政府委員(荒井誠一郎君) 私カラ御答ヘ

サシテ戴キタイト存ジマス、衆議院ニ於キ

マシテ、第三十二條ニ第二項ヲ加ヘ、又四

十二條ノ免稅ノ規定ヲ設ケマシタノハ、是

ハ政府ノ「アルコール」ノ製造ノ專賣ハ宜シ

イガ、又民間ニ於キマシテモ此ノ事業ノ獎

勵ヲ致シタナラバ宜シクナイカト云フ趣旨

カラ參ッタノデアリマス、固ヨリ政府ニ於キ

マシテモ、第三十二條ニ於キマシテ「政府

ハアルコール製造ノ委託ヲ爲スコトヲ得」、

斯ウ云フ規定ヲ置キマシテ、民間ニ適當ナ

ルモノガアリマスレバ、之ニ委託製造ノ途

ヲ開イテ居ルノデアリマス、唯其ノ場合ニ

是ハ政府ガ任意ニ製造ノ委託ヲ爲スノデ

アッテ、申請ヲシタ場合ニドウナルカト云

フ、斯ウ云フ疑問ガアッタノデアリマス、是

ハ固ヨリ任意ト申シマシテモ、相手方ノア

リマシテ、政府ニ於キマシテ適當ト認メ

タ場合ニ委託ヲ爲スノデアリマス、其ノ趣

旨ヲモウ少シ明カニ致シテ、委託ヲ受ケムトスル者ハ是ガ申請ガ出來ル、又委託ヲ爲ス場合ニハ申請ヲ爲サセロト云フ規定ヲ置イタラドウカト云フコトデアリマスノデ、其ノ趣旨ニ於キマシテハ異存ハゴザイマセヌノデ、之ニ同意スルコト致シテ次第デアリマス、又免稅ノ規定ニ付キマシテモ、是モ他ノ此ノ度提案ニナッテ居リマスル帝國燃料興業株式會社ノ法律ニ於キマシテモ免稅ノ規定ガアリマスシ、又一般ニ重要産業ニ對スル免稅ノ規定モアリマスノデ、是等ノ權衡上、此ノ國策ニ應ジテ無水「アルコール」ヲ造ル會社ニ對シテモ、免稅ノ規定ヲ置イタラバ宜シクナイカト云フコトデアリマシテ、民間ノ事業獎勵ノ上カラ此ノ規定ヲ置クコトニ同意シタノデアリマス、又其ノ製造場ヲ新設シタル場合ハ、ト云フコトハドウ云フコトカト云フ御疑念デアリマシタガ、是ハ或會社ガ設立サレマスルトカ又ハ現在アリマスル會社ガ原料關係カラ、產地ニ工場ヲ新設スルト云フコトガアルノデアリマス、ソレハ其ノ新設シタル工場ノ分ニ付キマシテ、所得稅或ハ營業收益稅ヲ課スルニ當リマシテ、其ノ工場ヨリ生ズル利益ヲ分別シマシテ、之ニ課稅スル、其ノ場合ニ其ノ金額

ダケヲ免除スルト云フコトデアリマシテ、全體ニ免除ヲ致ス譯デハナイノデアリマス今日重要物產等ノ事業ニ對スル免稅ノ扱ヒニ付キマシテモ、其ノ事業ニ付テ區分シテ、免稅ヲ致シテ居ル取扱ニナッテ居ルノデアリマス、四十二條ノ規定ヲ置キマシテ、ドレダケノ歲入ニ關係ガアルカト、斯ウ云フ御尋デアリマスルガ、是ハ現在ニ於キマシテハ、殆ンド無水「アルコール」ヲ造ッテ居リマスルモノガ、極ク僅カデアリマシテ、免稅ヲスベキ金額ガ、假令アリマシテモ、極メテ僅カト思フノデアリマス、將來此ノ工業ガ民間ニ於テ起リマシタ時ニドノ位ノ免稅ニナルカト、斯ウ云フ問題ニナルノデアリマスガ、只今具體的ニ此ノ仕事ヲ致スモノガゴザイマセヌノデ、計算ガ困難デアルト云フ狀況ニナッテ居ル次第ゴザイマス

○主査(子爵梅小路定行君) ソレデハ討論ニ入りマス

○子爵土岐章君 今日迄便宜上政府ノ、政府委員カラ御答辯ヲ得テ居ッタノデスガ、大臣モ色々忙シイ關係上御遠慮申上ゲタノデアリマスルガ、我々ハ政府委員ノ答辯デ先ツ満足ヲシテ審議ヲ進メテ居ッタノデアリマス、就キマシテハ恐ラク大臣トシテモ政府委員ノ御答辯ト云フモノニ付テハ同じ

御考デアルト思フノデアリマスガ、念ノ爲ニ此ノ法案ヲ決定スルニ付キマシテ、一應確メテ置クコトガ適當ト考ヘマシテ伺ヒマス

○國務大臣(結城豊太郎君) 私方々ニ出掛ケテ居リマシテ出席致ス時間ノナカッタコトハ甚ダ遺憾ト思ヒマス、政府委員ノ方カラ御答申上ゲタコトハ私ノ考ト御承知下サイマシテ一向差支ゴザイマセヌ

○子爵土岐章君 私ハ此ノ法案ニ賛成スル者デアリマスガ、唯念ノ爲ニ今迄ノ質問應答等ニ於テ政府當局ニ對シテ一應私ノ希望ヲ申上ゲテ置キタイト考ヘルノデス、今日「アルコール」專賣法ヲ設定サレ、更ニ揮發油及ビ「アルコール」混用法案ヲ提出サレタニ付テハ、是ハ國策上定メラレタ、誠ニ我々トシテハ贊成ラスルモノデゴザイマスルガ、唯其ノ原料トスル所ノモノガ、主トシテ食料品デアル、從ッテ今日ノ如ク米ガ非常ニ餘ッテ居ルト云フ時代ニハ左程私ハ憂ヘルヤウナ問題ハ起ラヌト思ヒマスケレドモ、曩ニ大正七八年ノ頃ノ如キ、米ガ非常ニ不足シタ其ノ結果ガ米穀法ト云フヤウナモノガ出來テ、米穀需給特別會計ニ於テハ、非常ナ損失ヲ國家ガ負擔スルト云フヤウナコトニナッテ居リマスノデ、今日ハ米ガ餘ッテ

居ルケレドモ又足りナクナッテ來ルト云フコトハ國家ノ長イ將來トシテ今カラ考ヘテ行カナケレバナラス、所デ、原料デアル所ノ諸ハ同時ニ食料品ニナルト云フモノデアリマスルカラ、從ッテ此ノ製造ガ進ムニ從ッテ此ノ融通性ト云フモノニ對シテハ農林省當局モ十分ニ注意ヲサレテ、斯カル場合ニ於テハ互ニ融通ノ範圍ヲ十分ニ附ケルト云フ風ヲ建前デ、御獎勵ヲサレルヤウニ、私ハ希望スルノデアリマス、尙此ノ買上ノ價格ト云フモノニ付キマシテモ、政府ハ農村對策ト云フ所カラ、特ニ甘藷ノ獎勵ヲシテ、サウシテ農村ノ疲弊シテ居ルモノヲ救ッテヤラウト云フコトガ、一ツノ國策トシテ掲ガラレテ居ル關係上、其ノ甘藷ノ買上ト云フコトニ付テモ、農家ハ高イ値段ヲ以テ買上ゲテ貰ヒタイト云フコトハ當然ノ希望デアリマセウケレドモ、一方ニ於テハ高イ所ノ揮發油ノ代用トシテ「アルコール」ヲ使ハウト云フコトデアリ、又國際貸借ノ上カラ云ッテノ、ソコニ節約ヲショウト云フコトデモアルノデアリマスカラ、其ノ買上ノ價格ニ對シテハ十分ニ栽培其ノ他ノ點カラモ増產ヲ圖ラレ、兩々相俟ッテ其ノ間ニ於テノ調節ヲシテ行カレルト云フコトニサレルコトヲ希望スルノデアリマス、先程モ柴田サン

カラモ御話ガアリマシタヤウニ、煙草ノ栽培ト云フコトニ付テ、餘リニ其ノ煙草ヲ栽培スルト云フ許可ヲ受ケテ居ル農家ガ、ソレダケニ頼ル爲ニ、今日ハ專賣局トシテモ非常ニ煙草ヲ買ハナケレバナラスト云フ風ナコトモ起ッテ居ルヤウニ聞イテ居リマス

ルガ、此ノ甘諸ヲ作ルニ付テハ、其ノ原料ガ特ニ「アルコール」ニ適スルヤウナ種類ヲ作ラウト、從ッテ生食用ノモノト比較シテ味ガ惡イト云フコトカラ、自然ト其處ニ區別ガ起ルカモ知レマセヌガ、ソレガ爲ニドウシテモ値段ガ高クナルトカ、或ハ作ッタモノヲドウシテモ買ハナケレバナラスト云フコトカラ、餘リ農家ニ對シテ依頼心ヲ起サセルト云フ風ナコトノナイヤウニ、又價格ニ於テモ、前段ニ申上ゲマシタヤウナコトカラ、十分御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ又技術上ノ點ニ付キマシテモ、色々今マデ「アルコール」原料トシテ使ハレテ居ルモノ以外ニ、更ニ木材其ノ他ノ新シイ資源ニマデ研究ヲ進メテ行カウト云フコトデアルヤウデアリマスガ、是等ニ對シテモ、無論萬遺漏ナイ、衆智ヲ集メテヤラレルコト考ヘマ

スルケレドモ、事モ新シイモノデアリ、同時ニ其ノ間各種ノ方面ノ工業ニ關係シテ居ルモノデアリマスルカラ、是等ニ付テモ十分ニ全智能ヲ集メラレテ、サウシテヤッテ戴キタイト考ヘマス、此ノ法案ニ對シテ賛成スルニ當リマシテ私共ノ希望ヲ述ベテ賛成スルモノデアリマス

○委員長(子爵梅小路定行君) 御意見ゴザイマセヌカ、ドナタモ、ソレデハ先刻二ツニ分ケテ御諮リシマシタカラ、此ノ專賣法案ニ付テ採決致シマス、御同意ノ方ハ御手ヲ舉ゲテ下サイ

(總員舉手)

○委員長(子爵梅小路定行君) 全會一致ト認メマス、ソレデハ本案ハ可決サレマシタ、次ニ混用法案ノ方ニ付テ討論ヲ願ヒマス

○子爵土岐章君 私ハ本法案ニ對シテモ賛成ヲスル者デアリマス、而シテ先程來政府委員其ノ他説明員カラノ御説明ニ依リマスルト、モウ既ニ外國ニ於テモ此ノ混用ト云フコトハ實際ニ行ハレテ居リ、全ク其ノ技術上ノ點ニ於テモ過チハナイト云フ御自信ガアルヤウデアリマスルガ、日本ニ於テハ是等ノ混法ハ始メテノコトデアリ、又各種外國ノ會社等モ存在シテ居ルコトデアリマサルカラ、實際ノ目的ヲ達セラレル爲ニ一層ノ研究ヲ進メラレテ、其ノ目的ヲ達セラレ

ルト云フコトニ付テノ違算ノナイヤウニ特ニ私ハ希望致シマシテ、本法案ニ對シテ賛成ヲ致シマス

○委員長(子爵梅小路定行君) 他ニ御意見ガゴザイマセヌバ、是モ採決致シマス、本案ニ賛成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス

(總員舉手)

○委員長(子爵梅小路定行君) 全會一致可決サレマシタ、ソレデハ兩案トモ議了可決致シマシタ、散會致シマス、連日ノ御苦勞ヲ感謝致シマス

午後四時四十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵梅小路定行君
副委員長 男爵沖 貞男君
委員 侯爵中御門經恭君
伯爵樺山 愛輔君
子爵西尾 忠方君
子爵土岐 章君
眞野 文二君
柴田善三郎君
白根 竹介君
男爵北島 貴孝君
男爵長 基連君
藤山 雷太君

國務大臣 金子元三郎君
田中德兵衛君

大藏大臣兼拓務大臣 結城豐太郎君
政府委員 大藏書記官 谷口 恒二君
同 安藤 明道君
專賣局長官 荒井誠一郎君
專賣局部長 花田 政春君
陸軍少將 山脇 正隆君
商工書記官 大島 永明君
拓務省殖産局長 萩原 彦三君

説明員

專賣局技師 黒野 勘六君
陸軍歩兵大佐 長谷川 基君
海軍機關大佐 細谷信三郎君
農林技師 間部 彰君